

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-6

< 第21週 >

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.7-9

< マイコプラズマ肺炎 >

第21週の定点当たり報告数は0.95となり、3週連続して増加が認められた



病原体情報  
P.10-11

咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス 2011~2012年



速報  
P.12-15

腸チフス 2011年



海外感染症情報  
P.16-20

インフルエンザ / 麻しんの流行状況について / カンボジアで鳥インフルエンザの患者が発生しました



感染症の話  
P.21

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(21週)  
P.22-27



21週のデータ  
P.28-40



# 発生動向総覧

< 第21週コメント > 5月30日集計分

## 全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

### 1類感染症

報告なし

### 2類感染症

結核395例

### 3類感染症

細菌性赤痢1例

菌種: *S. flexneri*( B群 )\_感染地域: 富山県

腸管出血性大腸菌感染症34例( 有症者24例、うちHUS 2例 )

感染地域: 国内28例、中国4例\*、カンボジア2例

国内の感染地域: 広島県3例、三重県2例、島根県2例、熊本県2例、宮崎県2例、岩手県1例、埼玉県1例、千葉県1例、東京都1例、富山県1例、京都府1例、大阪府1例、兵庫県1例、岡山県1例、福岡県1例、佐賀県1例、不明6例

\* 同一ツアー参加者の感染( O111, 145, 157の複数菌種への感染 )を含む

年齢群: 1歳( 1例 )、3歳( 3例 )、6歳( 4例 )、7歳( 1例 )、9歳( 1例 )、10代( 8例 )、20代( 2例 )、30代( 7例 )、40代( 3例 )、60代( 2例 )、70代( 1例 )、80代( 1例 )

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2( 9例 )、O157 VT2( 8例 )、O26 VT1( 3例 )、O157 VT1( 2例 )、O157 VT不明( 2例 )、O74 VT1・VT2( 1例 )、O103 VT1( 1例 )、O111 VT1( 1例 )、O145 VT1( 1例 )、O145 VT2( 1例 )、その他・不明( 5例 )

累積報告数: 342例( 有症者190例、うちHUS 8例、死亡2例 )

### 4類感染症

A型肝炎7例

感染地域: 千葉県1例、東京都1例、兵庫県1例、宮崎県1例、国内( 都道府県不明 )1例、フィリピン1例、スリランカ1例

つつが虫病11例

感染地域: 秋田県4例、山形県3例、青森県1例、新潟県1例、長野県1例、島根県1例

デング熱2例

感染地域: インドネシア1例、フィリピン1例

日本紅斑熱4例

感染地域: 広島県2例、熊本県1例、鹿児島県1例

マラリア3例

三日熱1例\_感染地域: パキスタン

熱帯熱1例\_感染地域: タンザニア

原虫種不明1例\_感染地域: パキスタン

レジオネラ症13例( 肺炎型13例 )

感染地域: 東京都2例、大阪府2例、宮城県1例、神奈川県1例、福井県1例、三重県1例、兵庫県1例、長崎県1例、大分県1例( 温泉 )、宮崎県1例、国内( 都道府県不明 )1例  
 年齢群: 50代( 3例 )、60代( 6例 )、70代( 2例 )、80代( 2例 )

レプトスピラ症1例

感染地域: 東京都\_\_感染機会: 職場での曝露

5類感染症

アメーバ赤痢9例( 腸管アメーバ症9例 )

感染地域: 東京都2例、青森県1例、京都府1例、香川県1例、国内( 都道府県不明 )3例、国外( 国不明 )1例  
 感染経路: 性的接触3例( 異性間1例、同性間1例、異性間・同性間不明1例 )、経口感染2例、性的接触( 異性間・同性間不明 )経口感染1例、不明3例

ウイルス性肝炎2例

B型1例\_\_感染経路: 性的接触( 異性間・同性間不明 )  
 C型1例\_\_感染経路: 不明

急性脳炎4例

ロタウイルス2例\_\_年齢群: 1歳( 1例 )、2歳( 1例 . 死亡 )  
 EBウイルス1例\_\_年齢群: 6歳  
 病原体不明1例\_\_年齢群: 1歳

クロイツフェルト・ヤコブ病1例

孤発性プリオン病古典型

劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例

年齢群: 30代( 1例 )、60代( 1例 )、80代( 1例 . 死亡 )

後天性免疫不全症候群14例( AIDS 3例、無症候11例 )

感染地域: 国内14例  
 感染経路: 性的接触13例( 異性間2例、同性間10例、異性/同性間1例 )、不明1例

ジアルジア症1例

感染地域: 広島県

梅毒12例( 早期顕症I期3例、早期顕症II期3例、無症候6例 )

破傷風2例

年齢群: 60代( 1例 )、70代( 1例 )

風しん10例( 検査診断例7例、臨床診断例3例 )

感染地域: 兵庫県4例、大阪府3例、京都府1例、熊本県1例、鹿児島県1例  
 年齢群: 1歳( 1例 )、15~19歳( 1例 )、20~24歳( 2例 )、25~29歳( 1例 )、30~34歳( 2例 )、35~39歳( 1例 )、40代( 2例 )  
 累積報告数: 219例( 検査診断例161例、臨床診断例58例 )

麻しん5例〔麻しん( 臨床診断例4例 )、修飾麻しん( 検査診断例1例 )〕

感染地域: 兵庫県2例、埼玉県1例、愛知県1例、国内( 都道府県不明 )1例  
 年齢群: 1歳( 1例 )、4歳( 1例 )、25~29歳( 2例 )、35~39歳( 1例 )  
 累積報告数: 126例〔麻しん( 検査診断例78例、臨床診断例25例 )、修飾麻しん( 検査診断例23例 )〕  
 遺伝子型別累積報告数( 遺伝子型が同定・報告された症例のみ ): 50例

D4 : 5例\_\_感染地域 : 千葉県1例、東京都1例、東京都/ベトナム  
1例、大阪府/英国1例、パキスタン1例

D8 : 37例\_\_感染地域 : 愛知県19例、千葉県5例、岐阜県3例、山  
梨県2例、都道府県不明6例、タイ1例、タイ/カンボジア1例

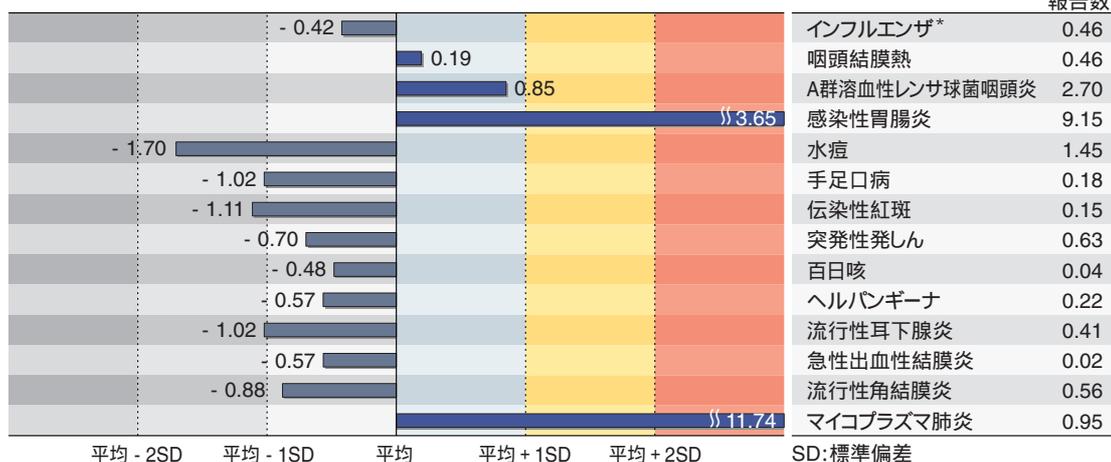
D9 : 8例\_\_感染地域 : 岡山県4例、栃木県1例、千葉県1例、東京  
都1例、フィリピン1例

( 補 ) 2012年第20週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎1例( 感染地域 : 三重県\_\_  
感染源 : 不明 )、デング熱1例( 感染地域 : インドネシア )、急性脳炎1例( 病原体不明\_\_年齢  
群 : 10代 )、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例( 30代( 1例 )、90代( 1例 . 死亡 ) )、バンコ  
マイシン耐性腸球菌感染症1例( 遺伝子型 : 不明\_\_菌検出検体 : 尿 )などの報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第21週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。( \*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

### インフルエンザ

定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(7.53)、熊本県(1.84)、青森県(1.73)、和歌山県(1.18)が多い。

### 小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は394例と3週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福島県(1.10)、鹿児島県(1.05)、佐賀県(0.96)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では大分県(5.25)、富山県(5.17)、山形県(4.47)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続して増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では福井県(15.6)、香川県(15.6)、山形県(15.1)、徳島県(14.3)が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では山形県(2.67)、三重県(2.38)、宮崎県(2.19)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では福井県(1.45)、沖縄県(1.41)、青森県(1.10)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では高知県(0.73)、島根県(0.61)、徳島県(0.61)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では高知県(0.43)、鳥取県(0.21)、広島県(0.14)が多い。

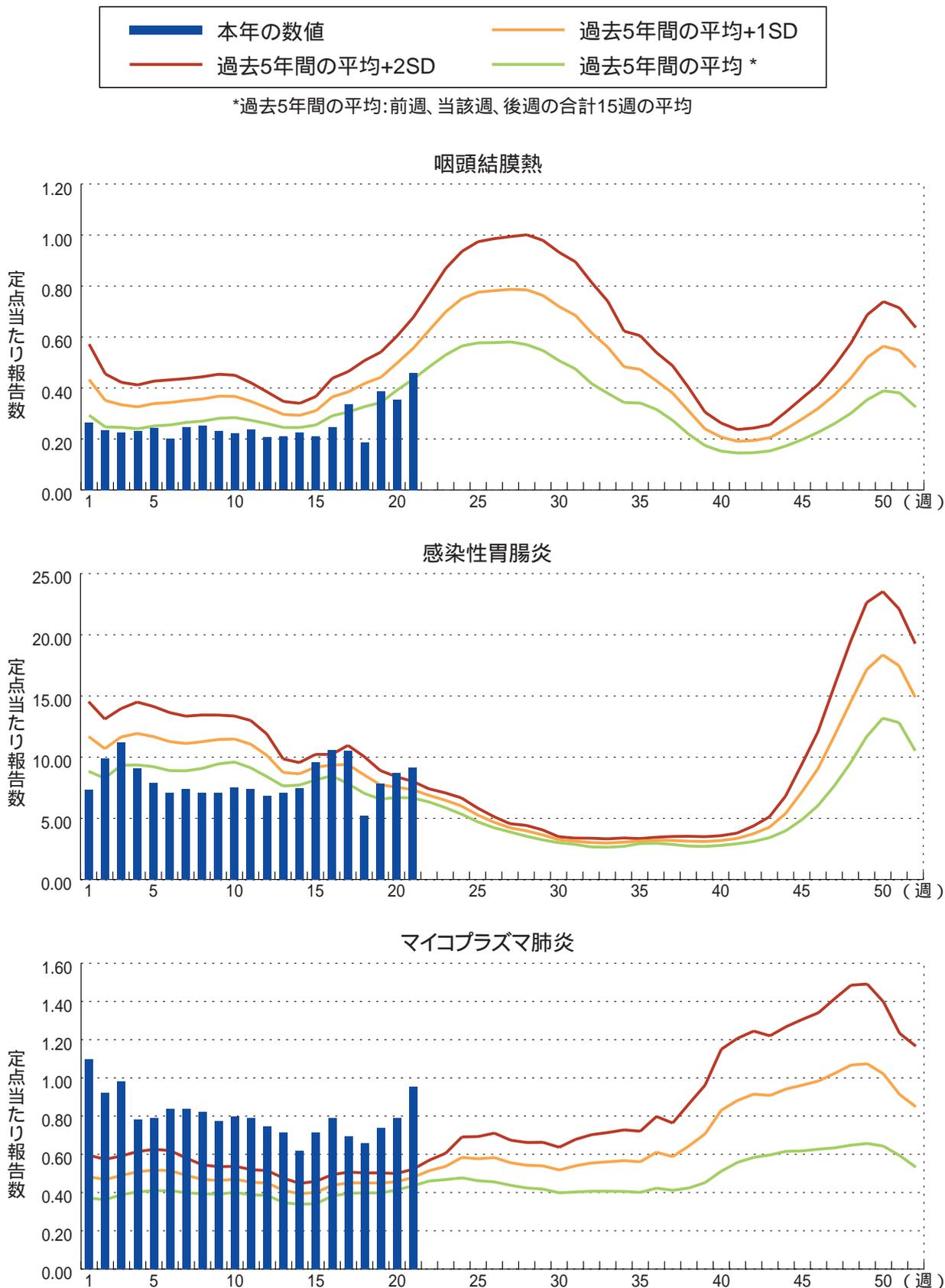
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では宮崎県(1.61)、三重県(1.16)、熊本県(0.71)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では岩手県(1.38)、岐阜県(1.11)、大分県(1.06)が多い。

### 基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では愛知県(2.85)、青森県(2.83)、石川県(2.80)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較( 2012年第21週 )  
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





## 注目すべき感染症

### マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマ(*Mycoplasma pneumoniae*)を病原体とする呼吸器感染症である。感染経路としては、飛沫感染による経気道感染や、接触感染によって伝播すると言われている。保育施設、幼稚園、学校などの集団生活施設内や家庭などでの感染伝播はみられるが、短時間の曝露による感染拡大の可能性はそれほど高くはなく、学校等では友人間などの濃厚接触による感染が重要であるといわれている。潜伏期間は2～3週間とインフルエンザやRSウイルス感染症等の他の小児を中心に大きく流行する呼吸器疾患と比べて長く、初発症状は発熱、全身倦怠、頭痛などである。本症の特徴的な症状である咳は、初発症状発現後3～5日より始まることが多く、乾性の咳が経過に従って徐々に増強し、解熱後も長期にわたって(3～4週間)持続する。かつては「異型肺炎」として、肺炎としては元気で一般状態も悪くないことが特徴であるとされてきたが、重症肺炎となることもあり、胸水が貯留することもそれほど珍しくはない。

診断には特異的IgM抗体迅速検出キットが開発され、臨床現場において活用されてきているが、幼児、学童の初回感染例では発病1週間以内では陰性を示すことが多く、また単一血清で高い抗体価であっても感染の既往を示している可能性を否定できない。最近、PCR法やLAMP法による遺伝子検出が次第に多くの検査機関で実施されるようになってきている。

治療は抗菌薬投与による原因療法が基本であるが、*Mycoplasma pneumoniae* は細胞壁を持たないために、β-ラクタム系抗菌薬には感受性はない。これまでは蛋白合成阻害薬であるマクロライド系(エリスロマイシン、クラリスロマイシン等)が第1選択薬とされてきたが、以前よりマクロライド系抗菌薬に耐性を有する耐性株が存在することが明らかとなっており( IASR速報: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3814.html>、IASR特集: マイコプラズマ肺炎 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/28/324/tpc324-j.html> )、近年その耐性株の割合が増加しつつあるとの指摘もあり、特に小児科の臨床現場に対する影響が懸念される。

マイコプラズマ肺炎は、かつては、他の病原体によるものも含まれる「異型肺炎」として発生動向調査が実施されていたが、1999年4月の感染症法改正により、現在の病原体診断に基づく調査となった。現在、マイコプラズマ肺炎のサーベイランスは全国約500カ所の基幹定点医療機関(2次医療圏域毎に1カ所以上設定された、300人以上収容する施設を有する病院)からの報告に基づいている。

2012年第21週のマイコプラズマ肺炎の基幹定点からの定点当たり報告数は0.95( 報告数442 ) となり、3週連続して増加が認められた( 図1 )。第21週の定点当たり報告数を都道府県別にみると、愛知県( 2.85 )、青森県( 2.83 )、石川県( 2.80 )、宮城県( 2.33 )、栃木県( 2.29 )、岩手県( 2.00 )、埼玉県( 1.89 )の順となっている。30都道府県で前週より増加がみられた( 図2 )。

図1. マイコプラズマ肺炎の年別・週別発生状況( 2002 ~ 2012年第21週 )

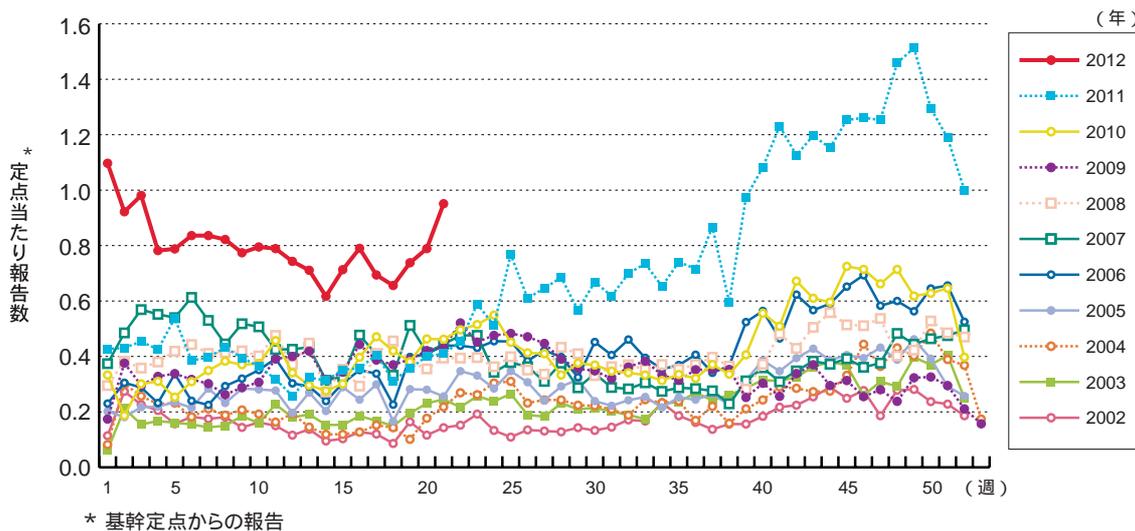
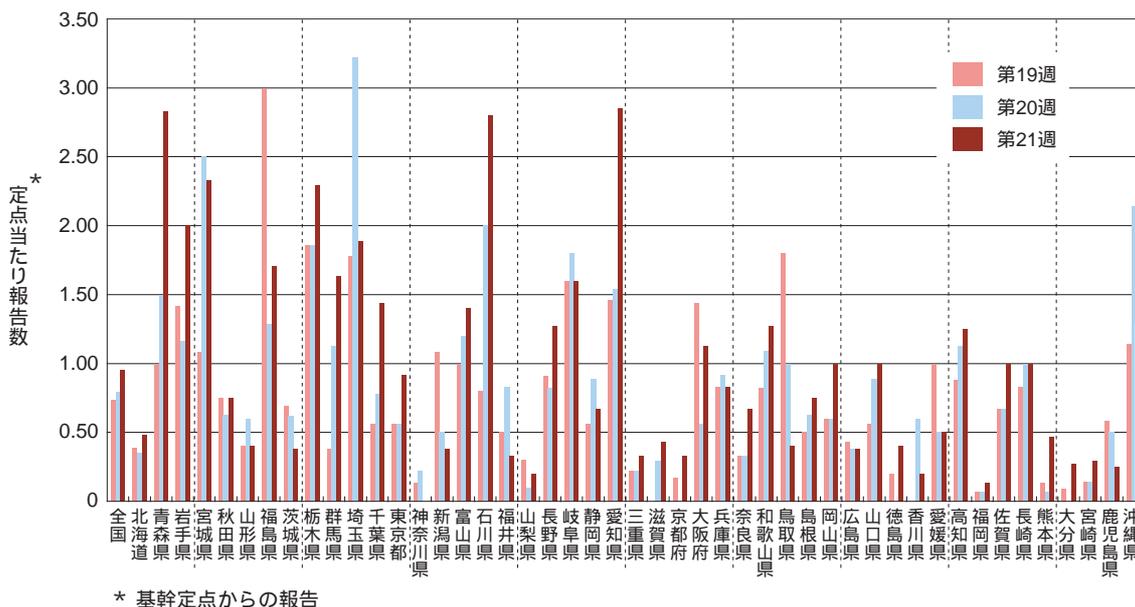
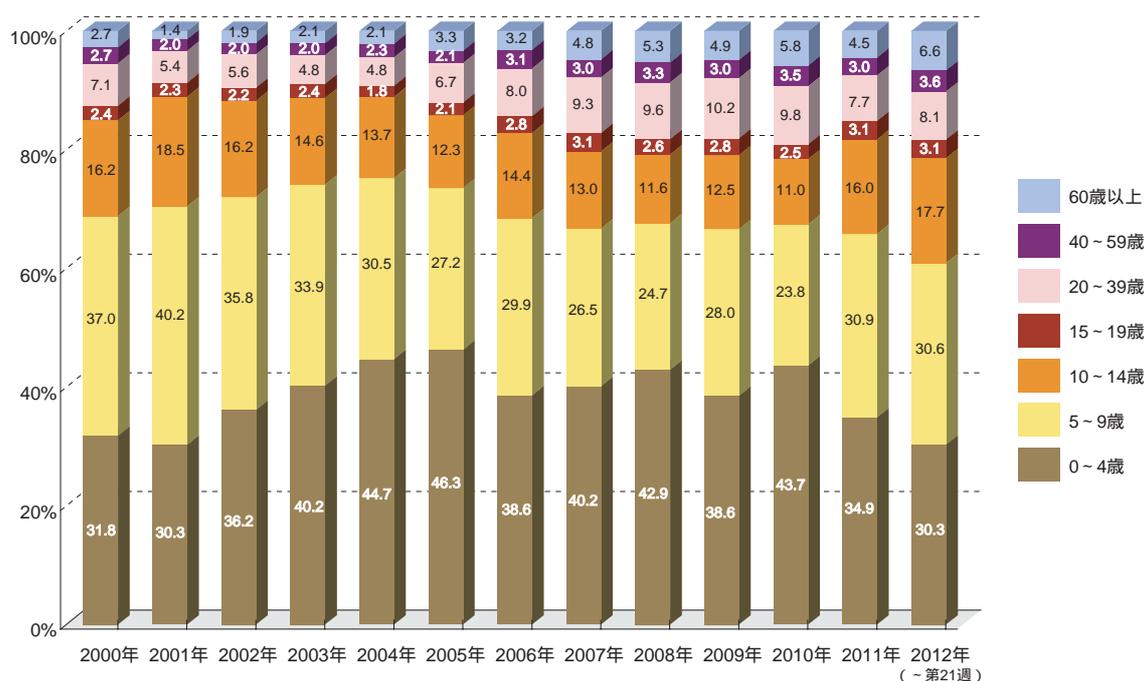


図2. マイコプラズマ肺炎の都道府県別定点当たり報告数の推移( 2012年第19 ~ 21週 )



2012年第1~21週の定点当たり累積報告数は16.98( 累積報告数7,897 )であり、年齢群別では5~9歳30.6%、0~4歳30.3%、10~14歳17.7%、20~39歳8.1%、60歳以上6.6%の順となっている。2002年以降では、0~4歳の報告割合が最多を占めてきたが、2012年は5~9歳が0~4歳をやや上回っており、また10~14歳、60歳以上の年齢群からの報告割合も例年と比べて高くなっている( 図3 )。

図3. マイコプラズマ肺炎の年別・年齢群別割合( 2000 ~ 2012年第21週 )



2011年6月( 第25週 )以降、マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は1999年の発生動向調査開始以来の高水準が継続したまま、ほぼ1年が経過しつつある。定点当たり報告数は、2011年第49週にピークを迎え、その後減少傾向となっていたが、2012年5月のゴールデンウィーク終了後は再び増加傾向となってきた。現状のままでは、2012年も昨年と同様かあるいはそれ以上の流行となる可能性が危惧される。マイコプラズマ肺炎の発生動向には、今後とも長期間にわたって注意が必要である。



# 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html> )からの引用です。

国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

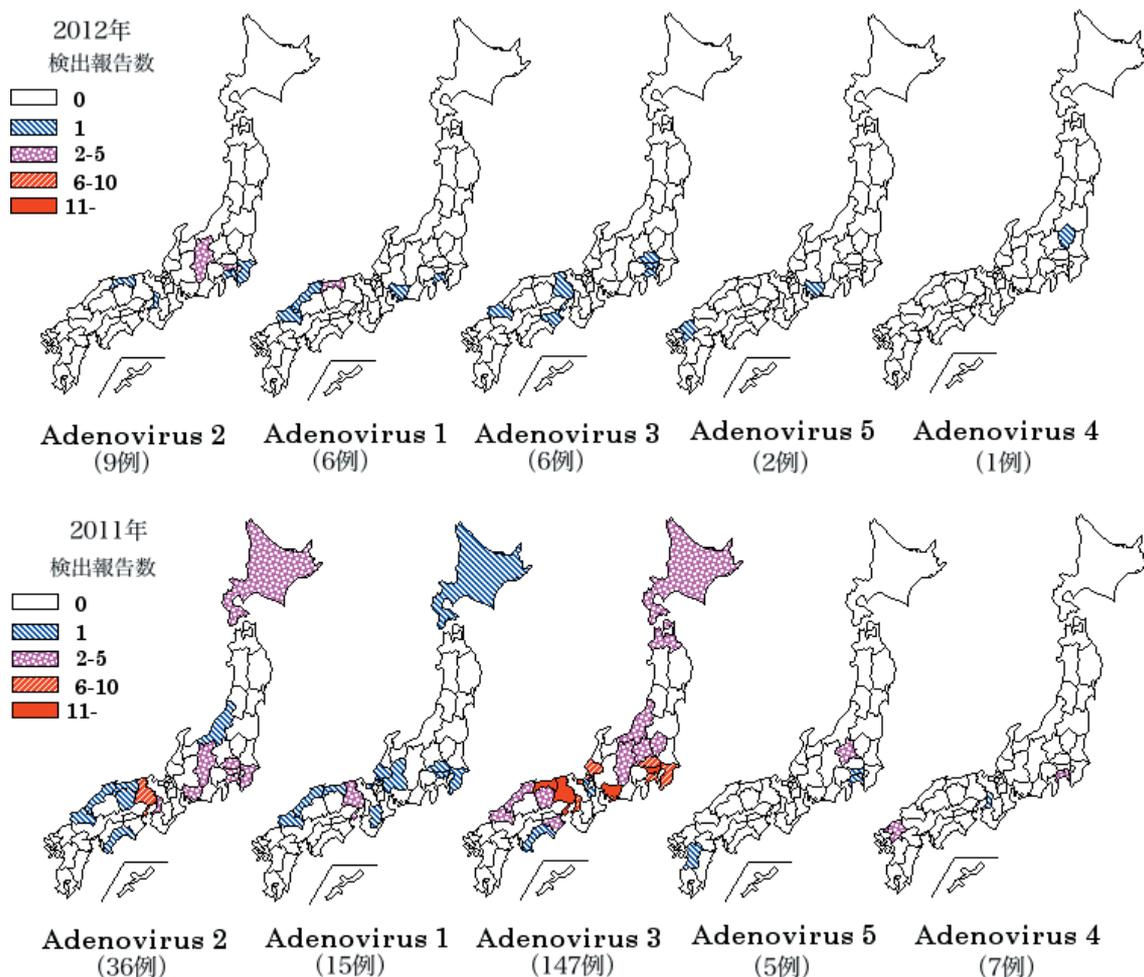
(2012年5月31日現在報告分)

## 咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス 2011～2012年

2012年第1～20週までにアデノウイルス(Ad)2型が6都府県から9件、Ad1が5県から6件、Ad3が6都府県から6件、Ad5が2県から2件、Ad4が栃木県から1件の検出が報告されている。

2011年には夏季を中心にAd3の検出が147件と増加し、その他にAd2が36件、Ad1が15件、Ad4が7件、Ad5が5件など、計215件の検出が報告された。

都道府県別咽頭結膜熱患者からの主なアデノウイルス分離・検出報告状況、2011年&2012年  
(病原微生物検出情報: 2012年5月31日現在報告数)

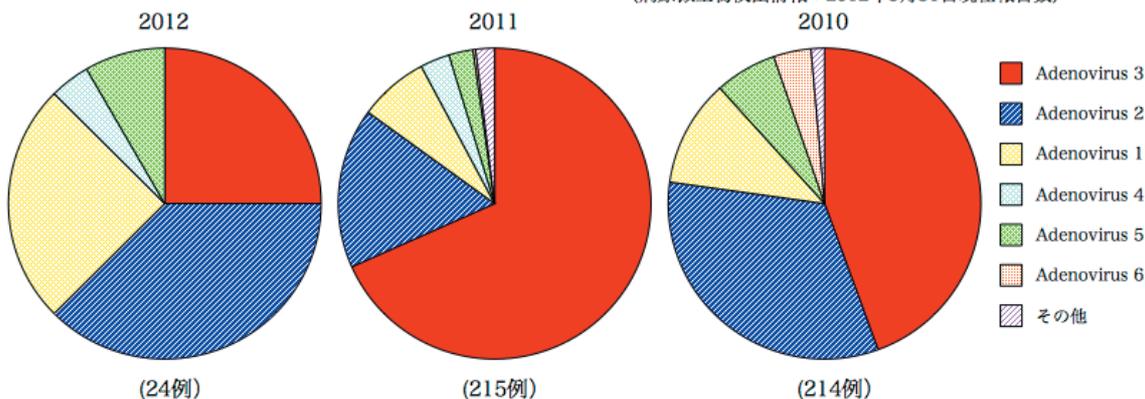


\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



咽頭結膜熱患者から分離・検出されたアデノウイルス、2010～2012年

(病原微生物検出情報：2012年5月31日現在報告数)

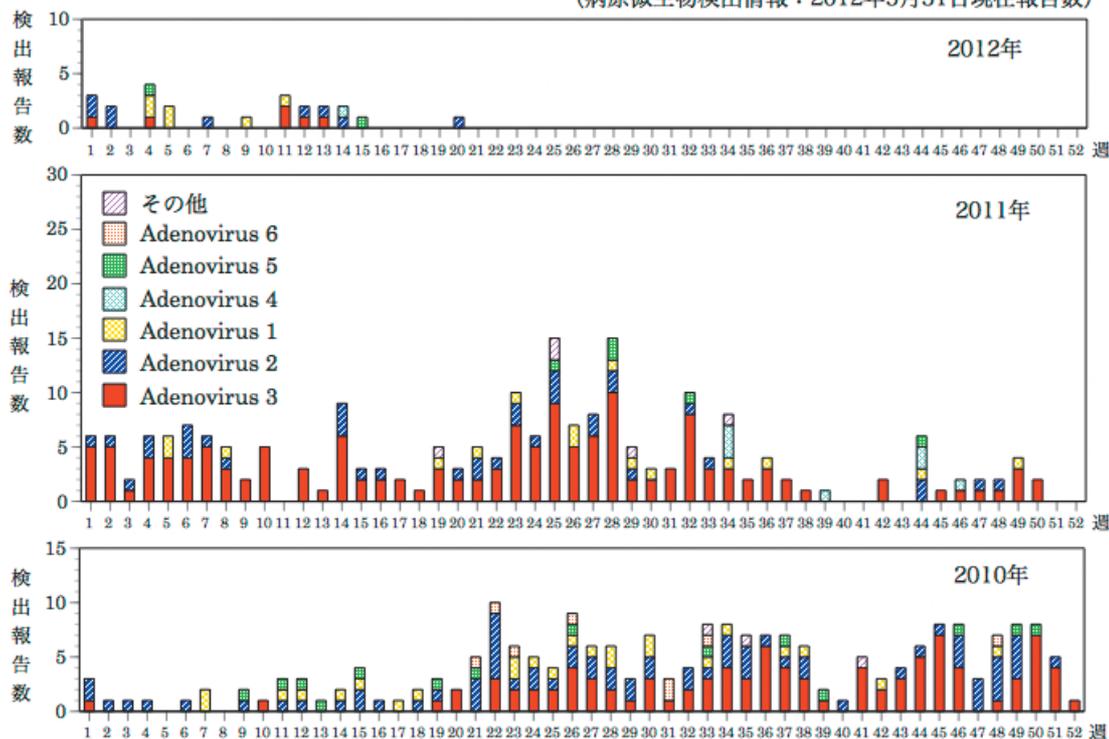


\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



週別咽頭結膜熱患者からのアデノウイルス分離・検出報告数、2010年～2012年

(病原微生物検出情報：2012年5月31日現在報告数)



\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。





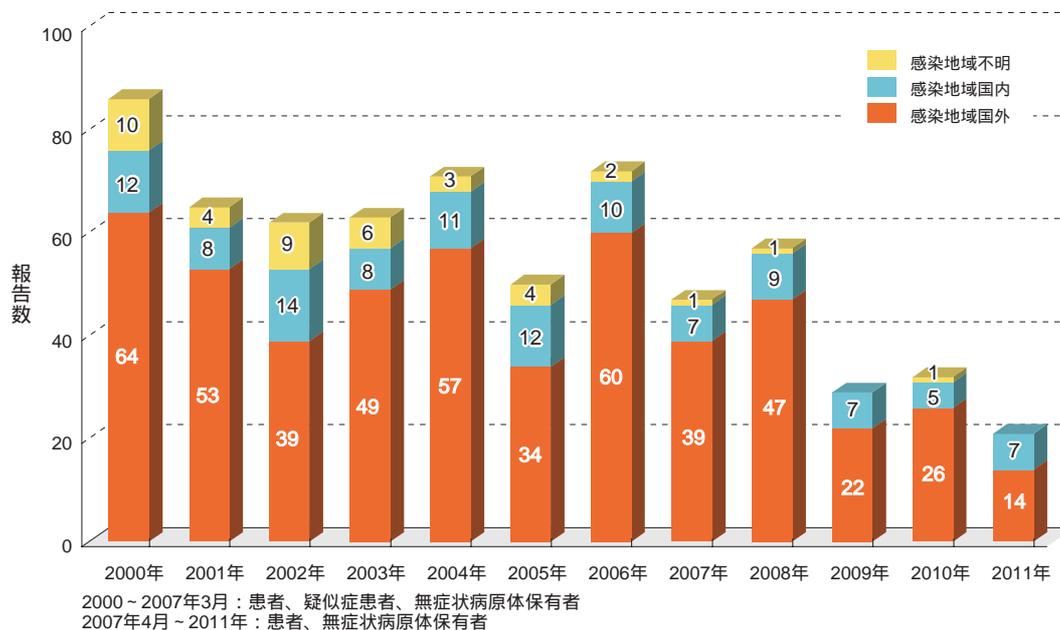
## 腸チフス 2011年 (2012年2月29日現在)

腸チフスはチフス菌 (*Salmonella Typhi*) の感染によって起こる全身性感染症である。一般のサルモネラ感染症とは区別され、パラチフスとともにチフス性疾患と総称される。チフス菌の感染はヒトに限って起こるので、患者および無症状病原体保有者の便と尿、それらに汚染された食品、水、手指が感染源となり、経口的に感染する。通常は1～3週間の潜伏期の後、発熱で発症する。熱は段階的に上昇して39～40℃に達する。主要症状は発熱の持続で、他に特記すべき症状がないことが多い。比較的徐脈(高熱のわりに脈拍数が増えない)、バラ疹(高熱時に出現して数時間で消える)、脾腫が3主徴とされるが、これらの出現率は30～50%程度である。便秘、時には下痢のみられることもある。また、昏迷状態など意識障害を起こすこともある。合併症として腸出血、それに続く腸穿孔を起こすことがあるが、ニューキノロン薬が治療に使用されるようになってからは稀となった。しかし近年、ニューキノロン系薬低感受性菌の増加、耐性菌の出現が問題となっている( <http://idsc.nih.gov/iasr/30/350/dj3501.html> )。

腸チフスは感染症法(1999年4月施行)に基づく2類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届出が、診断した全ての医師に義務づけられた。その後、法改正(2007年4月施行)により3類感染症に変更され、現在は患者及び無症状病原体保有者が届出対象(疑似症患者は対象外)である。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者に対する調査などによって発見されるほか、他の疾患に伴う検査や、健診などにおいて発見されている。

2011年の報告数(診断週が2011年第1～52週のもので、2012年2月29日までに報告されたもの)は21例であった。過去の年間累積報告数は、2000年86例、2001年65例、2002年62例、2003年63例、2004年71例、2005年50例、2006年72例、2007年47例、2008年57例、2009年29例、2010年32例であり、2011年は感染症法施行以降の年間報告数として、最も少ない報告数であった(図1)。21例は、患者18例、無症状病原体保有者3例であった。無症状病原体保有者は、2例

図1. 腸チフスの年別・感染地域別報告数(2000～2011年)



がそれぞれの同居家族に患者がおり接触者調査で発見され、もう1例は他疾患の精査時に発見された。

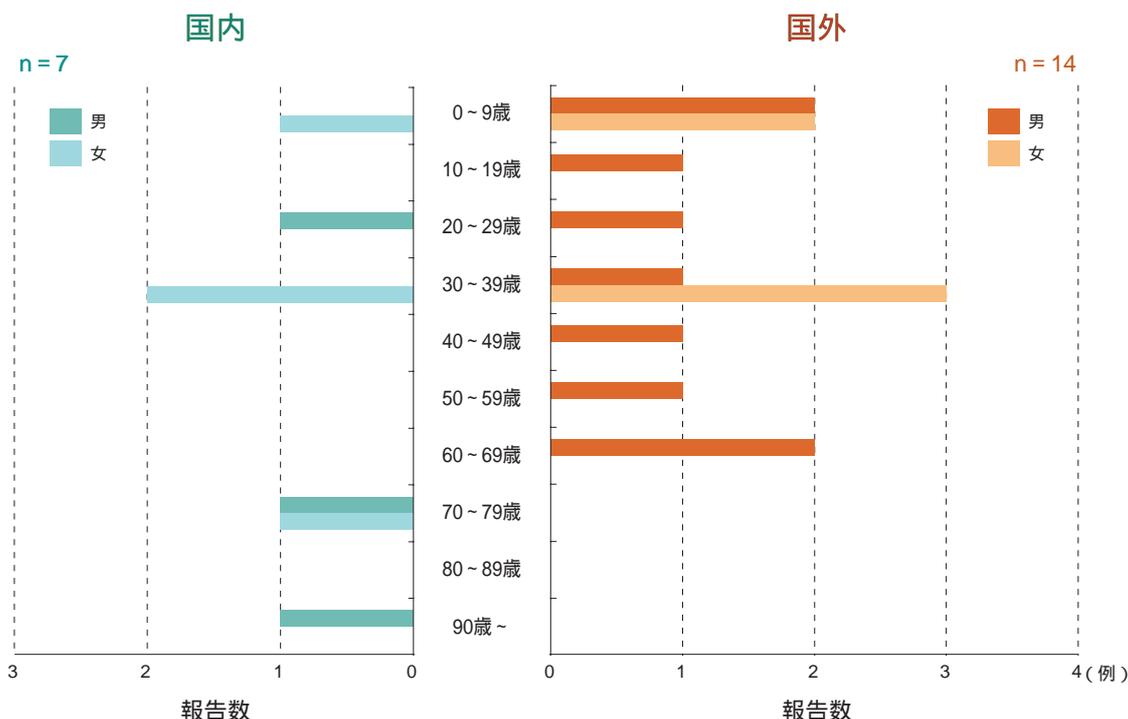
全21例は男性12例、女性9例で、年齢中央値は32歳( 2 ~ 90歳 )であった。確定または推定として報告された感染地域は、国内7例、国外14例であった。死亡例の報告はなかった。

患者18例で報告された症状は、高熱17例、下痢13例、比較的徐脈7例、脾腫5例、便秘1例であった。バラ疹、腸出血、腸穿孔、意識障害、難聴、胆石、慢性胆嚢炎の報告はなかった( 以上は届出様式に記載されていて選択された症状 )。また、その他の症状として、頻尿・排尿困難・尿失禁1例、左腎盂腎炎・左水腎症1例の自由記載があった。

病原診断は届出基準に従い、細菌培養による菌の分離・同定により行われており、検体の種類は、患者( 18例 )では血液12例、血液および便1例、便2例、尿2例、大腸組織1例であった。無症状病原体保有者( 3例 )では便2例、胆汁1例であった。

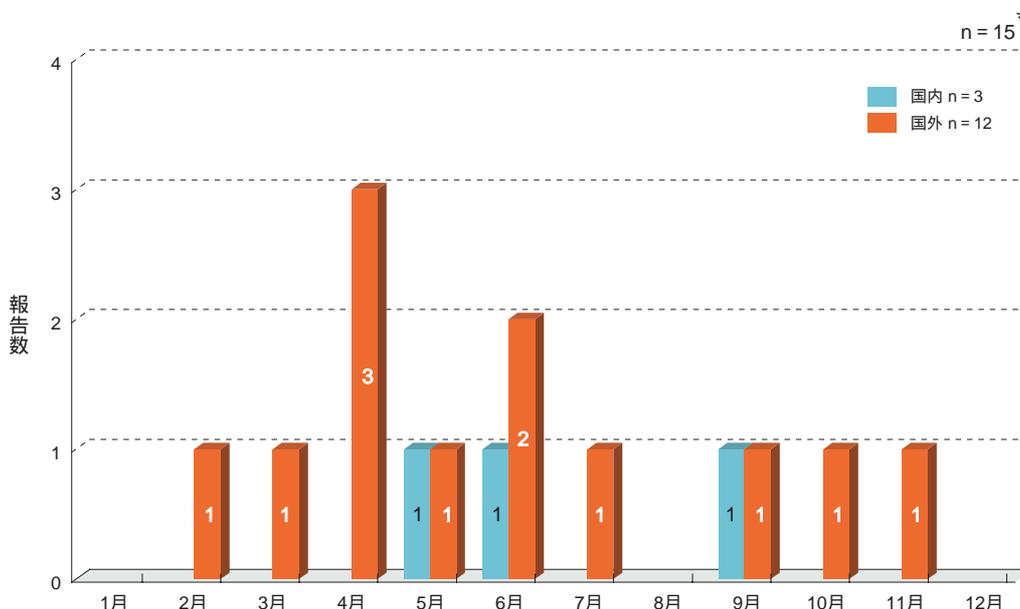
国内を感染地域とする7例( 男性3例、女性4例 )について年齢群別にみると、10歳未満1例、20代1例、30代2例、70代2例、90代1例( 年齢中央値36歳 )であった( 図2 )。患者5例のうち発症月の記載があった3例の発症月は、5、6、9月であった( 図3 )。また、感染原因・感染経路については、3例がそれぞれ患者である同居家族からの接触感染であったが、残りの4例は不明であった。

図2. 腸チフスの感染地域別・性別・年齢群別報告数( 2011年 ) n = 21



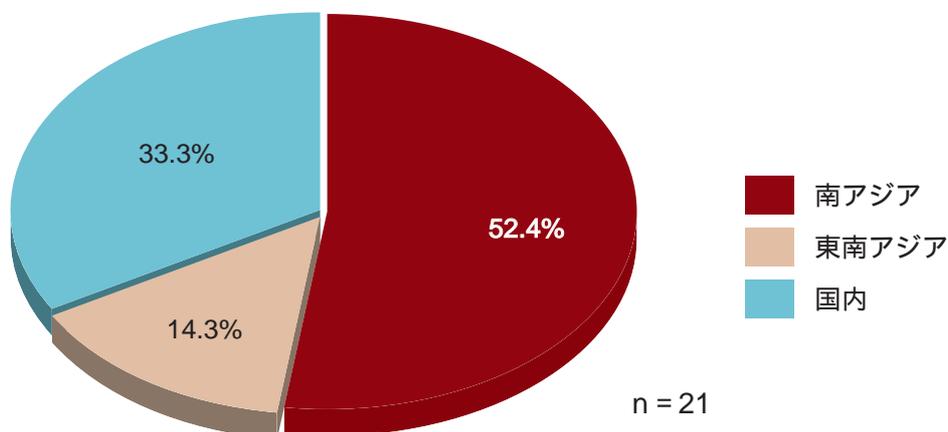
国外を感染地域とする14例( 男性9例、女性5例 )について年齢群別にみると、10歳未満4例、10代1例、20代1例、30代4例、40代1例、50代1例、60代2例( 年齢中央値32歳 )であった( 図2 )。報告そのものが減少したこともあり、従来みられた20代と30代に多いという特徴は薄らいでいた。患者13例のうち発症月の記載があった12例の発症月をみると、1、8、12月を除いて毎月発症者の報告がみられており、目立った季節性は見られなかった( 図3 )。また、14例の感染地域別では、南アジアが11例( インド6例、ネパール2例、パキスタン2例、バングラデシュ1例 )と最も多く、これは従来と同じであった。他は東南アジアが3例( フィリピン2例、タイ1例 )であった( 図4 )。感染原因・感染経路については、渡航先での飲食物による経口感染と推定されたものが多かったものの、飲食物の詳細が記載されていたものはなかった。

図3. 腸チフスの感染地域別・発症月別報告数( 2011年 )



\* 無症状病原体保有者3例、発症月不明3例を除く

図4. 腸チフスの感染地域割合( 2011年 )



予防のためのワクチンとしては、新世代の経口生ワクチン、および注射不活化ワクチン( 莢膜多糖体ワクチン )があり、欧米先進国では流行地への渡航者を対象に接種されている。しかし、わが国ではいずれも未認可であるため、一部の医療機関や予防接種センターなどで、個人輸入により接種が行われている。ニューキノロン低感受性菌・耐性菌の存在、流行地への赴任者等での需要、ワクチンの安全性と有効性などから、今後わが国でも認可されることが望まれるワクチンである。感染症予防の基本は感染経路の遮断であるので、日頃から手洗いの励行を心がけ、流行地への渡航などでは生水、氷、生の魚貝類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要である。また、無理な旅行日程などによって体調をくずし、抵抗力を落とさないよう心がけることも大切である。

薬剤感受性検査やファージ型別等の菌の詳細な検査は、治療上、疫学情報上有用であり、国立感染症研究所において検査を実施して動向監視しているため、菌株の提供を、保健所を通じて医療機関にお願いしています。結果は病原微生物検出情報誌 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html> で隔月に掲載しているので、ご参照ください。また、<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/511-surveillance/iasr/tables/1525-iasrb.html> の「チフス菌・パラチフスA菌ファージ型」の箇所にも掲載されておりますので、あわせてご参照ください。

他に、腸チフスの発生状況に関する情報として週報( IDWR )速報、病原微生物検出情報( IASR )特集: 腸チフス・パラチフスを参照できます。  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/ta/typhi.html> からご覧ください。



## 海外感染症情報

\*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### インフルエンザ - 更新160

2012年5月25日 WHO

#### 【要約】

- ・北半球の温帯地域のほとんどの国々では、2011年から2012年のインフルエンザシーズンは終わっています。南半球の国々では、まだ低いレベルか、シーズンオフレベルですが、チリでは非常に小さな増加が報告されています。サハラ以南のアフリカでは、若干の活動性が残っています。
- ・北半球の2011年から2012年のインフルエンザシーズンは、優位を占めたウイルスが地域によって異なりました。北米では、カナダで、特にシーズン後半に、インフルエンザA( H3N2 )がインフルエンザB型がわずかに優勢でした( インフルエンザA( H3N2 )は67%、インフルエンザB型は33% )。しかし、その分布は国内で一定ではありませんでした。米国では、割合は逆で、インフルエンザA( H3N2 )が優勢でした。メキシコでは、今シーズンは、インフルエンザA( H1N1 ) pdm09が優勢でした。ヨーロッパでは、インフルエンザウイルスの大部分がインフルエンザA( H3N2 )であり、インフルエンザA( H1N1 ) pdm09とB型は少数でした。アジアでは、中国北部とモンゴルで、シーズンの初めはインフルエンザB型がほとんどでしたが、その後、インフルエンザA( H3N2 )が出現しました。韓国と日本は、順序が逆で、シーズンの初めはインフルエンザA( H3N2 )が優勢で、その後、インフルエンザB型が出現しました。
- ・シーズン当初は、検査されたウイルスのほとんどが現在の3価の季節性ワクチンに含まれている株と抗原的に関連性がありました。しかし、シーズンの半ばに、米国とヨーロッパで検査されたA( H3N2 )ウイルスに相違がみられました。最近の数か月間で検査されたA( H3N2 )ウイルスのかなりの数で、2011年から2012年のインフルエンザシーズンのワクチン株ウイルスとの交差反応性が低下したことが示されています。インフルエンザB型ウイルスの検出は、ビクトリア系統と山形系統の2系統が検出されており、以前は、中国とヨーロッパの一部地域でわずかに優勢でした。
- ・ノイラミニダーゼ阻害薬に対する耐性は、シーズンを通じて、低いか検出されませんでした。しかし、米国で検出されたインフルエンザA( H1N1 ) pdm09で、オセルタミビルに対する耐性が若干増加したと報告されています。これらの耐性の大部分( 16株のうち11株 )はテキサス州からの報告で、テキサス州では、インフルエンザA( H1N1 ) pdm09が優勢なウイルスでした。

#### 【北半球の温帯地域】

北半球の温帯地域でのインフルエンザの活動性は、全体的に減少し続けています。数か国では、2011年から2012年のインフルエンザシーズンは、例年に比べて穏やかでした。ヨーロッパやアジア北部の他の国では、インフルエンザの活動性は例年同様のレベルに達しました。

#### ・北米

北米では、2011年から2012年のインフルエンザシーズンは、例年より遅く始まり、インフルエンザの活動性は減少し続けています。今シーズンを通じて、カナダでは、インフルエンザB型が優勢なウイルスであり、米国では、インフルエンザA( H3N2 )が優勢でした。

カナダでは、5月6日から12日の週に、インフルエンザの活動性は減少し続けました。インフルエンザ様疾患( ILI )の受診率は、前回の報告に比べて、かなり減少し、この時期に予想されるレベ

ルを下回っています。5月6日から12日の週に検査された3,124検体のうち、10%がインフルエンザ陽性であり、前週の報告の15%から減少しました。新たに90例のインフルエンザ関連入院が報告され、前回の報告の67例に比べて増加しました。今シーズンは、予防接種監視活動(IMPACT)ネットワークによって、これまでに559例の小児のインフルエンザ関連入院例が報告されており、そのうちの36%は2歳未満の小児でした。サーベイランスシステムによる報告では、今シーズン当初から1,674例のインフルエンザ関連入院のうちの34%と、88例の検査確定死亡者のうちの80%は、65歳を超える成人でした。今シーズンの初めから、1,202株のインフルエンザウイルスの抗原解析が行われました。A( H3N2 )ウイルスの202株のうち、90%はワクチン株のA/Perth/16/2009と抗原的に類似していましたが、10%のウイルスはこのワクチン系統に対して産生される抗血清との反応性が低下していました。解析された807株のインフルエンザB型ウイルスのうち、46%はワクチン株のB/Brisbane/60/2008( ビクトリア系統 )と抗原的に類似していましたが、解析された391株のうち1株で、B/Brisbane/60/2008に対して産生される抗血清への反応性が低下していました。残りの52%のインフルエンザB型ウイルスは山形系統に属するB/Wisconsin/01/2010と抗原的に関連がありました。

米国では、インフルエンザの活動性は、全国的に減少しており、インフルエンザに関するデータによれば、2011年から2012年のインフルエンザシーズンは例年に比べて穏やかであったようです。ILIの受診率( 1.4% )は、減少し続けており、国の季節性の閾値( 2.4% )を下回っています。すべての地域で、ILIの活動性は地域ごとのベースラインを下回っていると報告されました。インフルエンザ陽性となった呼吸器検体数は、3月中旬以降減少が続いており、5月6日から12日の週は13%でした。広範囲な活動性と報告された州は、前回の報告の2州から1州に減少しました。122市のサーベイランスシステムで報告された肺炎とインフルエンザによる死亡は6%で、流行閾値の7.5%より低い状態が続いています。今週は、インフルエンザに関連した小児の死亡例が2例報告され、2011年から2012年のシーズン中の小児の死亡例は、合計24例となりました。これは、2010年から2011年のシーズンに報告された122例と比べると、極めて少ない報告数です。5月上旬に検査されたインフルエンザ陽性検体288検体のうち、47%がインフルエンザB型で、53%がインフルエンザA型でした。亜型が解析されたインフルエンザA型ウイルスのうち、A( H3N2 )が40%( 61株 )、A( H1N1 )pdm09が8%( 12株 )でした。2011年10月1日以降、1,514株のインフルエンザウイルスが抗原解析され、現在の季節性の3価インフルエンザワクチンに含まれるウイルスに抗原的に関連性があったのは、インフルエンザA( H1N1 )pdm09の98%、インフルエンザA( H3N2 )の81%、インフルエンザB型の46%でした。オセルタミビルに対する耐性は、検査された1,147株のインフルエンザウイルスA( H1N1 )pdm09のうち、1%( 16株 )と報告されましたが、先週の報告から新たな耐性例は報告されていません。インフルエンザA( H3N2 )ウイルスとインフルエンザB型ウイルスには耐性はありませんでした。16例のオセルタミビル耐性例に関する詳細は、先々週の更新情報やCDCのウェブサイト( 英文 : <http://cdc.gov/flu/weekly/> )で見ることができます。

メキシコでは、5月6日から12日の週に解析された検体( 18検体 )からは呼吸器感染症を起こすウイルスは検出されませんでした。

#### ・ヨーロッパ

2011年から2012年のインフルエンザシーズンは終わっていますが、ロシアでは、依然として、かなりの伝播が報告されています。5月6日から12日の週は、ILIと急性呼吸器感染症(ARI)の受診率は、ほとんどすべての国で、低いレベルに戻りました。検査される検体数は、インフルエンザ陽性検体の占める割合とともに、減少が続いていますが、特にトルコやギリシャでは、インフルエ

ンザ陽性検体のうちインフルエンザB型ウイルスが占める割合が高くなっています。重症急性呼吸器感染症(SARI)による入院症例数は、インフルエンザ陽性率が若干増加しましたが、安定しており、ヨーロッパ西部では、5月6日から12日の週はインフルエンザに関連したSARI患者の報告はありませんでした。2011年から2012年のシーズン中、特に5週から11週の間、65歳以上の高齢者の超過死亡が著しく増加し、この増加はヨーロッパでのインフルエンザの活動性に一致していましたが、現在は、死亡率は通常のレベルに戻っています。今シーズン当初から、定点と定点以外で採取されたインフルエンザウイルス42,644株の解析が行われ、91%がインフルエンザA型で、9%がインフルエンザB型でした。亜型が解析されたインフルエンザA型ウイルス21,110株のうち、96%はインフルエンザA(H3N2)ウイルスで、4%がインフルエンザA(H1N1)pdm09でした。2011年から2012年のシーズン中、ヨーロッパでは、オセルタミビルに対する耐性は報告されていません。

・ アフリカ北部と地中海地域東部

地中海地域東部とアフリカ北部のインフルエンザの活動性は、2011年の年末にピークに達した後、減少が続いています。この地域では、現在、インフルエンザB型ウイルスが優勢ですが、非常に少数の報告です。先週の報告と同様、オマーンでは、5月6日から12日の週も、インフルエンザA(H1N1)pdm09の活動性が報告されました。

・ アジアの温帯地域

インフルエンザの活動性は、全体的に減少し続けており、2011年から2012年のシーズンは終わったようです。中国北部では、定点病院から報告されるILIの外来患者の割合は2.6%であり、最近数週間に報告されたレベルと同様でした。5月6日から12日の週には、181検体が検査され、4%がインフルエンザ陽性であり、過去数週間に比べ、減少しました。伝播が減少するにつれ、インフルエンザB型に比べ、インフルエンザA型(ほとんどがA(H3N2))の割合が増加し続けており、5月6日から12日の週は、インフルエンザ陽性検体のうち86%を占めています。中国北部では、3月上旬に伝播のピークに達しましたが、その時点では、検出されるウイルスの大部分がインフルエンザB型でした。モンゴルでは、過去数週間と同様に、ILIは減少し続けています。ILIの活動性のほとんどは、1歳から4歳の小児で報告されています。最近の肺炎に関連した入院事例でインフルエンザに関連した事例はありませんでした。シーズン当初以降、優勢な亜型はインフルエンザB型からインフルエンザA型に移行しており、過去数週間は、A(H3N2)とA(H1N1)pdm09がともに検出されています。中国北部と同様に、モンゴルでも、過去数週間で、優勢なウイルスはインフルエンザB型からインフルエンザA(H3N2)に移行しています。韓国では、ILIの活動性は減少が続いています。中国とモンゴルとは対照的に、韓国では、シーズン当初はインフルエンザA(H3N2)が優勢でしたが、3月上旬以降、ほとんどすべてがインフルエンザB型です。日本では、ILI患者の報告は減少が続いています。シーズン後半にインフルエンザB型が少数報告されましたが、今シーズンはインフルエンザA(H3N2)が優勢なウイルスでした。

【熱帯地域】

・ アメリカ大陸の熱帯地域

カリブ海諸国では、ほとんどの地域で、インフルエンザの活動性は低い状態が続いています。ドミニカ共和国とエルサルバドルの2か国のみで、かなりのウイルス伝播が報告されています。ドミニカ共和国では、主に、インフルエンザA(H3N2)が検出されています。エルサルバドルでは、

主に、インフルエンザA( H1N1 )pdm09が検出されています。その他の中米と南米の熱帯地域では、この時期の予想通り、インフルエンザの伝播が低いか検出されないレベルであると報告されています。

・ サハラ以南のアフリカ

サハラ以南のアフリカでは、インフルエンザの伝播が報告されている国は少数です。3月上旬に、主にインフルエンザA( H3N2 )の伝播がピークを迎えましたが、それ以降は減少が続いています。ケニアでは、例年通り、一年中、ウイルスが検出されています。ルワンダとタンザニアは、比較的少数のインフルエンザA( H1N1 )pdm09の検出を報告しています。マダガスカルでは、最近数週間は、インフルエンザA( H3N2 )とインフルエンザB型の検出がともに増加しています。

・ アジアの熱帯地域

アジアの熱帯地域のインフルエンザの活動性は、ほとんどの地域で減少しました。中国南部では、定点病院から報告されたILI受診者の割合は、3.3%でした。検査された1,117検体が検査され、8%がインフルエンザ陽性であり、インフルエンザA型が優勢です。2011年から2012年のシーズン当初以降、抗ウイルス薬に対する耐性が検査されたウイルスでは、インフルエンザA( H1N1 )pdm09とA( H3N2 )はすべてアダマンタンに耐性で、ノイラミニダーゼ阻害薬には感受性がありました。また、インフルエンザB型ウイルスはすべてノイラミニダーゼ阻害薬に感受性がありました。しかし、香港では、インフルエンザの活動性が、依然として高いレベルです。そして、インフルエンザに関連したICU( 集中治療室 )入院例または死亡例が17例報告されており、そのうち9例が死亡しました。シンガポールでは、インフルエンザB型と少数のインフルエンザA( H1N1 )の検出は3月上旬にピークに達し、それ以降減少していますが、5月6日から12日に、ARIによる受診者数が通常よりも増加しました。他の熱帯地域の国々と同様、シンガポールでは、過去1年間、ほぼ毎週、ウイルスの検出が報告されています。ベトナムはシンガポールと同様の伝播様式で、3月上旬にインフルエンザB型の伝播のピークに達しましたが、インフルエンザA( H1N1 )pdm09よりもA( H3N2 )と同時流行していました。タイ、カンボジア、ラオスでは、インフルエンザの活動性は、低いか検出されないレベルです。

【南半球の温帯地域】

南米の温帯地域、アフリカ、オーストラリア、ニュージーランドでは、インフルエンザの活動性とウイルスの検出状況は、全体的に低いです。しかし、チリでは、過去4週間でインフルエンザA( H3N2 )の検出が増加したと報告されています。オーストラリアでは、夏季期間中、インフルエンザA( H3N2 )とB型ウイルスが、ほぼ継続して低いレベルで検出されました。

麻しんの流行状況について

2012年5月25日 CDQ( Travelers' Health )

2012年5月25日に公表されたCDCの情報によりますと、米国では、高い予防接種率と効果的な公衆衛生対応によって、2000年に麻しん排除を宣言し、一年中発生することはありません。しかし、麻しんは、ヨーロッパ、アジア、大洋州、アフリカの一部地域では、まだ普通にみられる病気です。予防接種を受けていない渡航者は、麻しんに感染して、予防接種を完了していない家族や友人に拡大させるリスクがあります。このリスクを避けるため、すべての渡航者は、渡航先に

かわらず、予防接種歴を確認しなければなりません。麻しんは最も感染力の強い病気のひとつであり、国内旅行であっても、航空機内や飛行場で感染を受けることがあります。

・ヨーロッパ

ウクライナ保健省は、今年に入って9,173例の麻しん疑い患者を報告しており、そのほとんどは、西部地域で発生しています( 2012年5月14日現在 )。ウクライナ保健省は、予防接種計画、サーベイランス、報告を含む麻しん予防対策を強化していると報告しています。CDCは、ウクライナで開催されるUEFA欧州選手権2012( UEFA Euro 2012 )に行くすべての渡航者に対し、麻しんの予防接種を受けるように勧めています。

ルーマニアでは、今年に入って1,268例の麻しん患者が報告されています( 2012年5月23日現在 )。ルーマニアでは、2011年の1年間に4,015例の麻しん患者が報告されました。

フランスでは、今年に入って358例の麻しん患者が報告されています( 2012年5月23日現在 )。フランスでは、2011年の1年間に15,206例の麻しん患者が報告されました。

英国では、今年に入って1,279例の麻しん疑い患者が報告されており、そのほとんどは、リヴァプール( Liverpool )、ノズリー( Knowsley )、セフトン( Sefton )で発生しています( 2012年4月29日現在 )。英国では、2011年の1年間に1,083例の麻しん患者が報告されました。CDCは、ロンドンで開催されるロンドンオリンピック、ロンドンパラリンピック、ウインブルドン選手権に行くすべての渡航者に対し、麻しんの予防接種を受けるように勧めています。

スペインでは、今年に入って182例の麻しん患者が発生しており、イタリアでは、今年に入って133例の麻しん患者が発生しています( 5月23日現在 )。

ヨーロッパ、アフリカ、アジアへの渡航者は、米国での輸入例の発生源になっています。特定の多発地域は移り変わりますが、すべての渡航者は予防接種を受けることによって身を守らなければなりません。

カンボジアで鳥インフルエンザの患者が発生しました

2012年5月29日 WHO ( GAR )

2012年5月29日に公表されたWHOの情報によりますと、カンボジアで、新たに鳥インフルエンザA( H5N1 )患者1例が報告されました。

患者は、コンポン スプー( Kampong Speu )州に住む10歳の女児で、2012年5月20日に発症しました。村で初期治療を受けた後、発熱と息切れのため5月25日に入院しました。鳥インフルエンザ( H5N1 )ウイルスの感染は、5月26日にカンボジアのパスツール研究所( Institute Pasteur du Cambodge )で確定されました。集中治療にもかかわらず、5月27日に死亡しました。

患者の住む村では最近、家さんの死亡の報告があり、患者は発症前に病気の鶏を調理していました。

カンボジアでは、2005年から現在までに21例の患者が確認され、そのうち19例が死亡しています。

政府と自治体の緊急対応チームはアウトブレイクの調査と国の計画に基づいた対応を行っています。さらに、家族に鳥インフルエンザへの感染予防の方法を伝える公衆衛生の啓発活動も実施されています。



## 感染症の話

\*\*\*\*\*

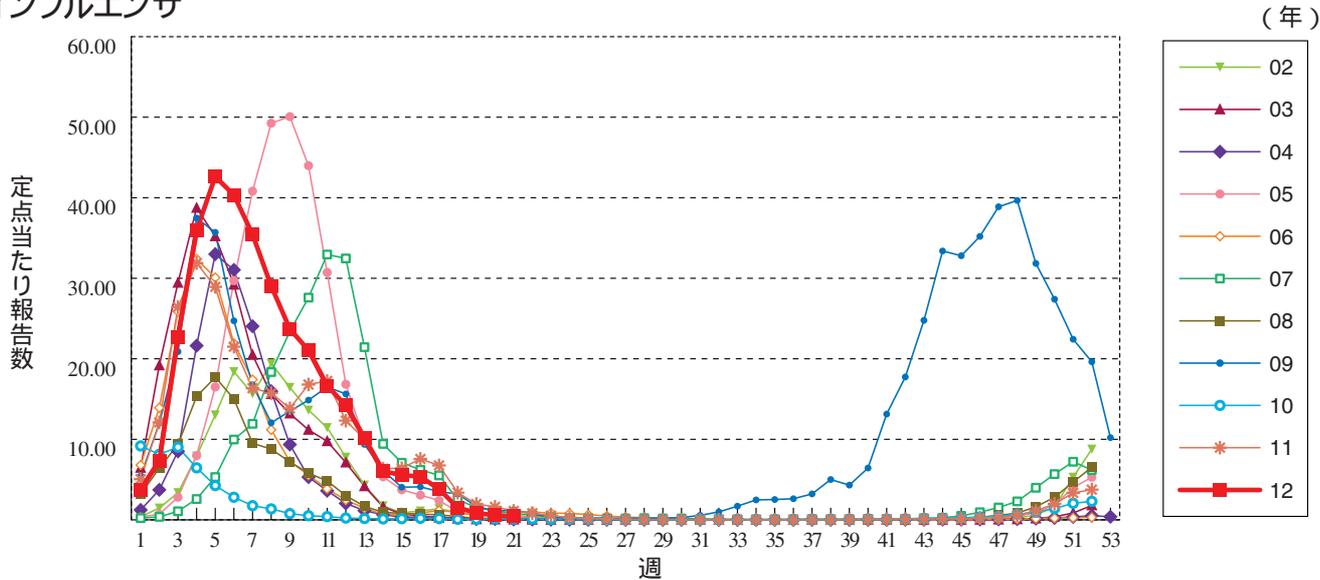
今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>  
でご覧いただけます。

\*\*\*\*\*

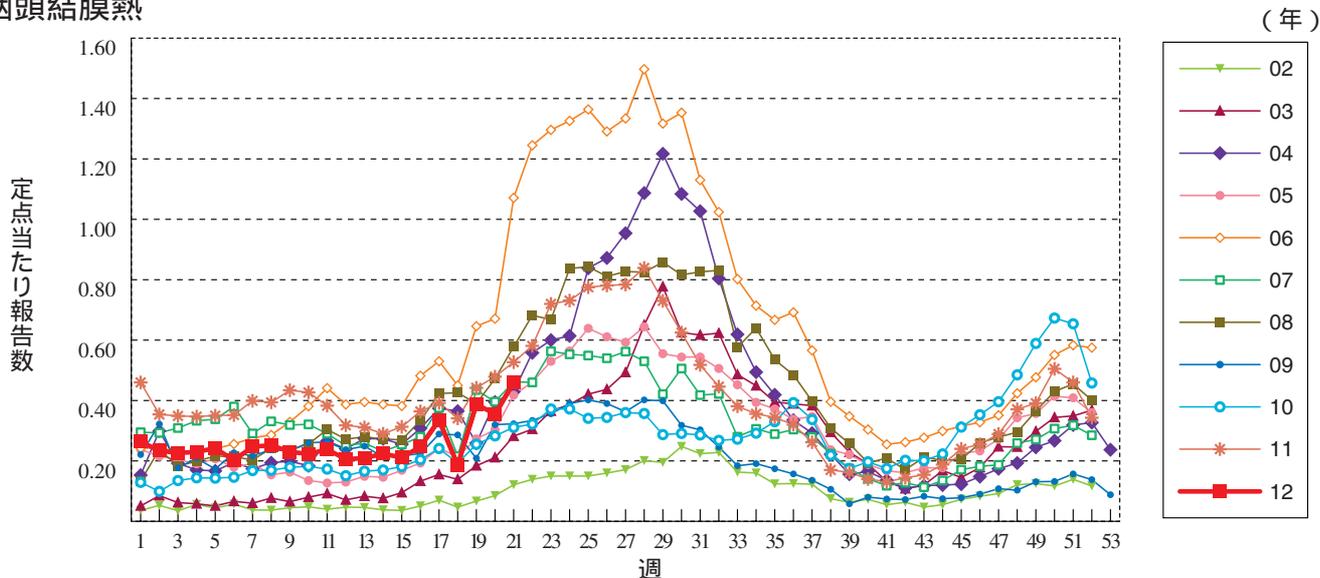


**グラフ総覧( 21週 )**

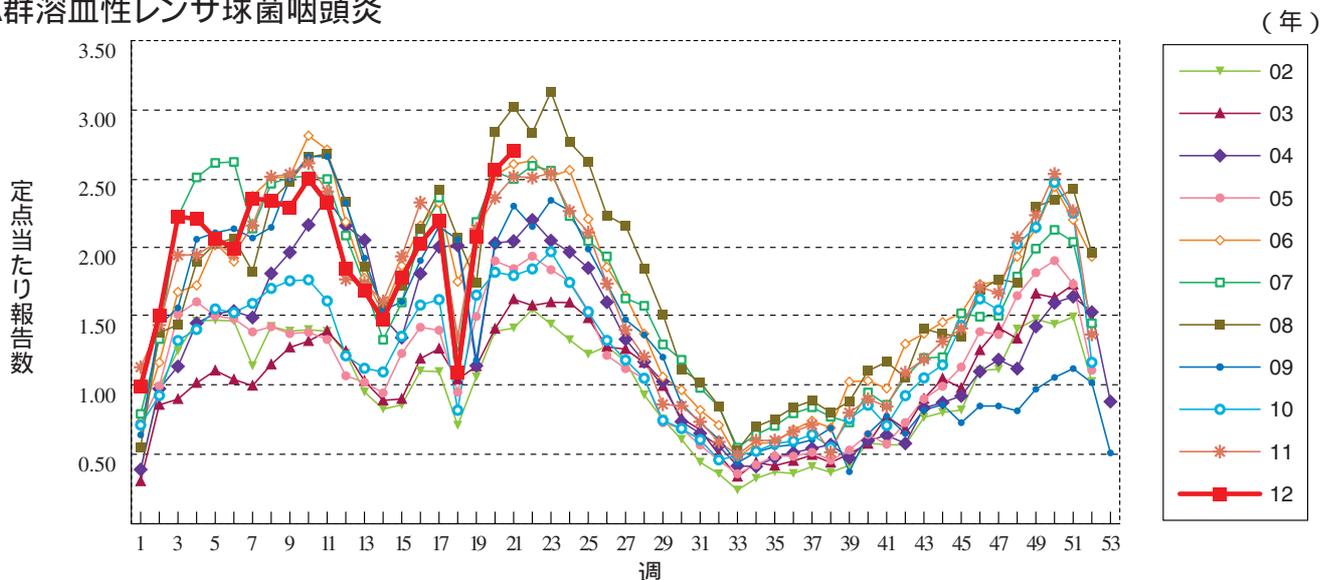
**インフルエンザ**



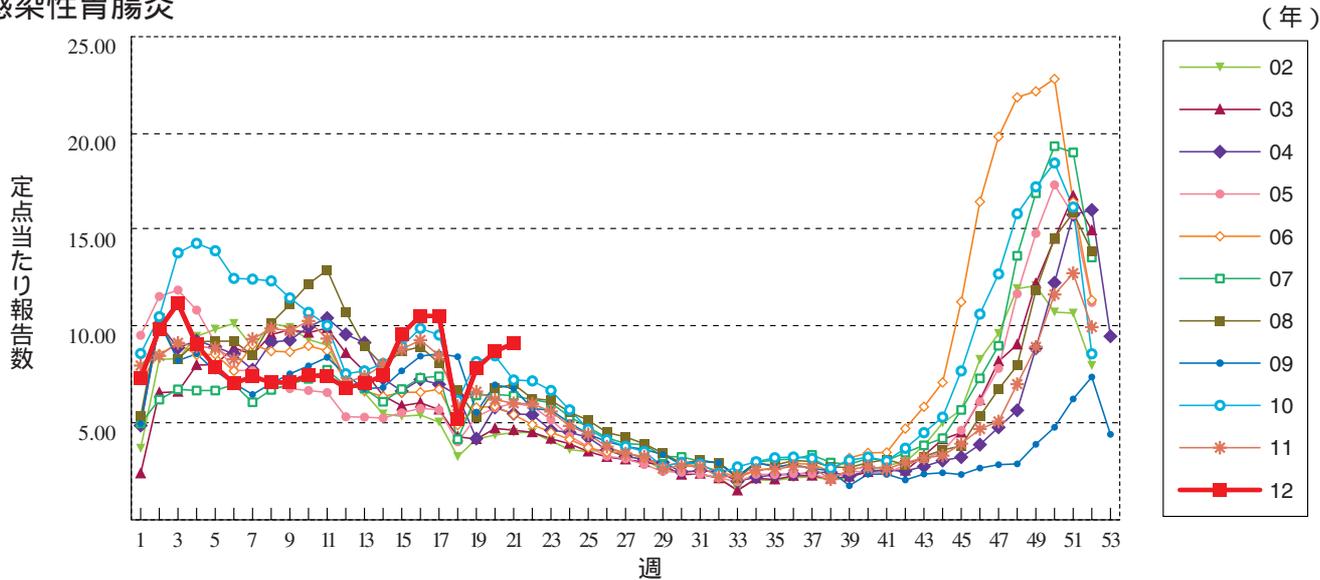
**咽頭結膜熱**



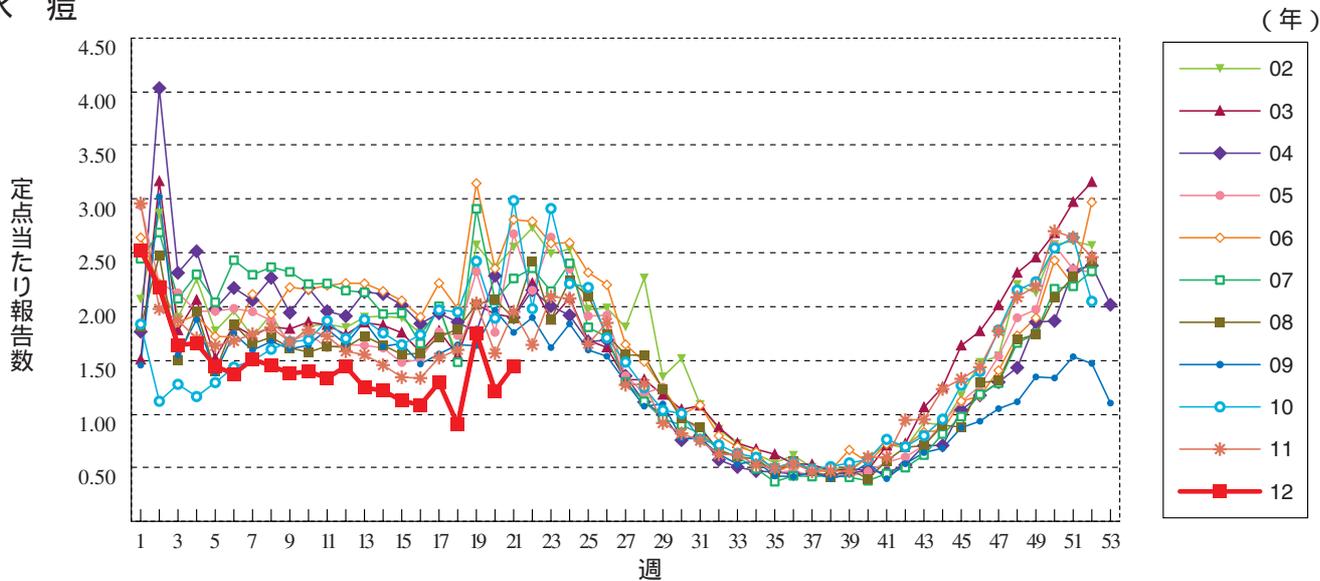
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



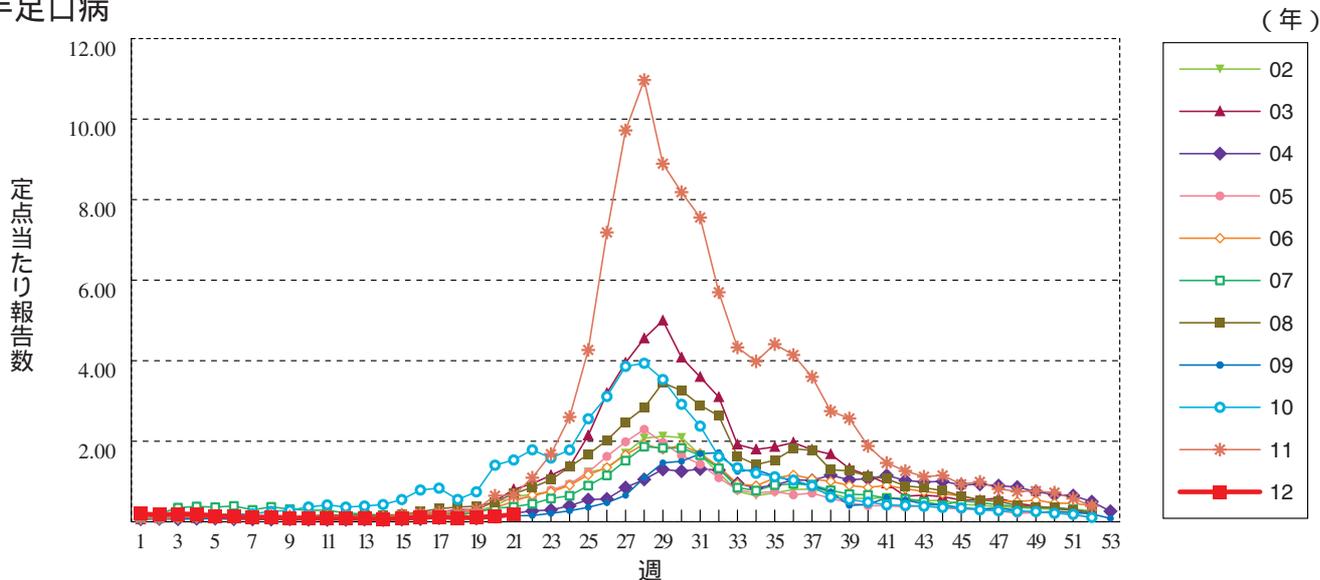
感染性胃腸炎



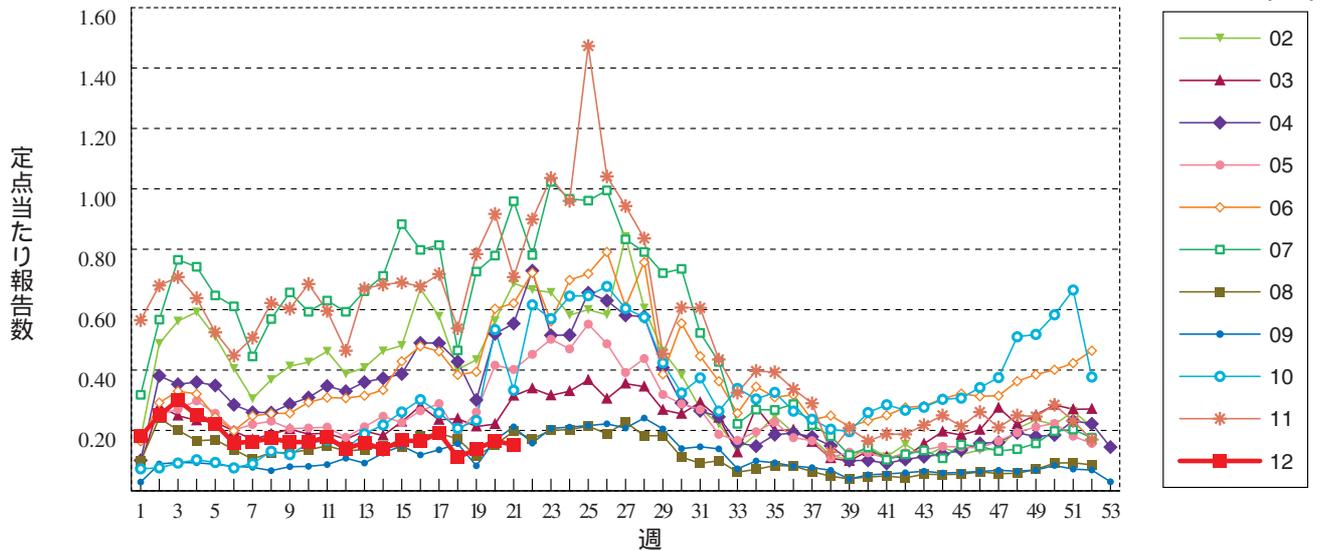
水痘



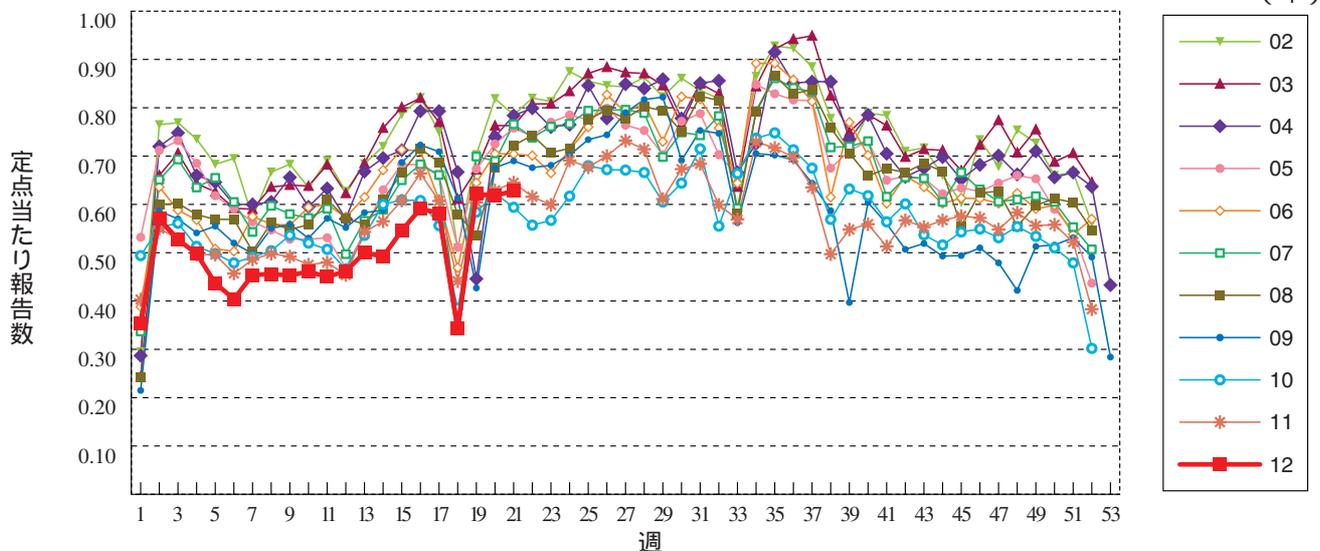
手足口病



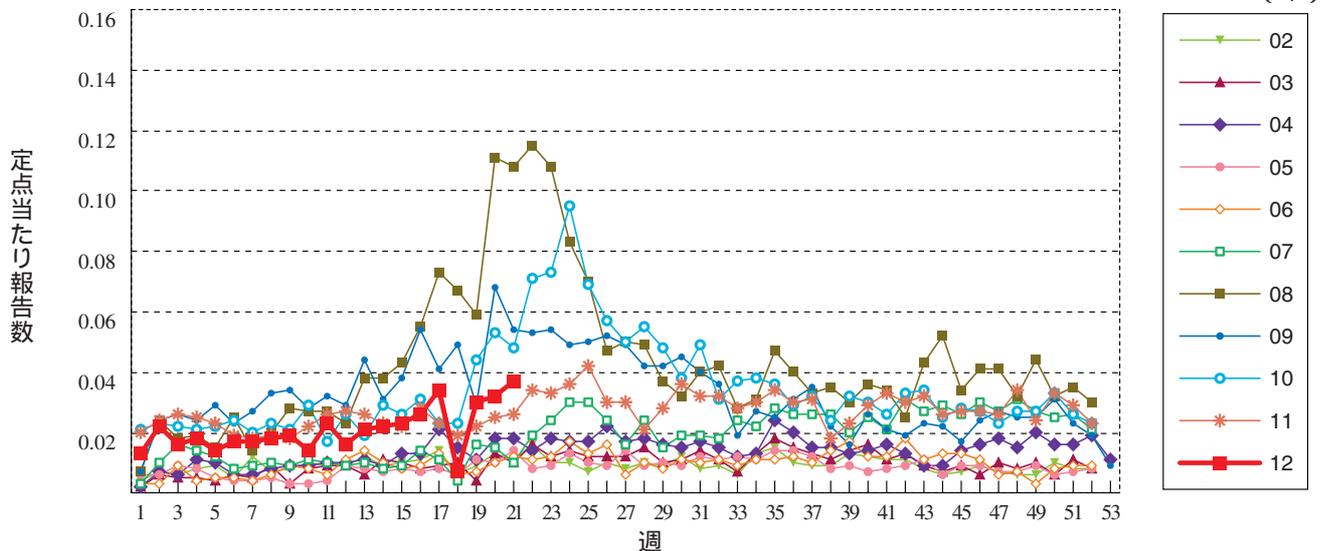
伝染性紅斑



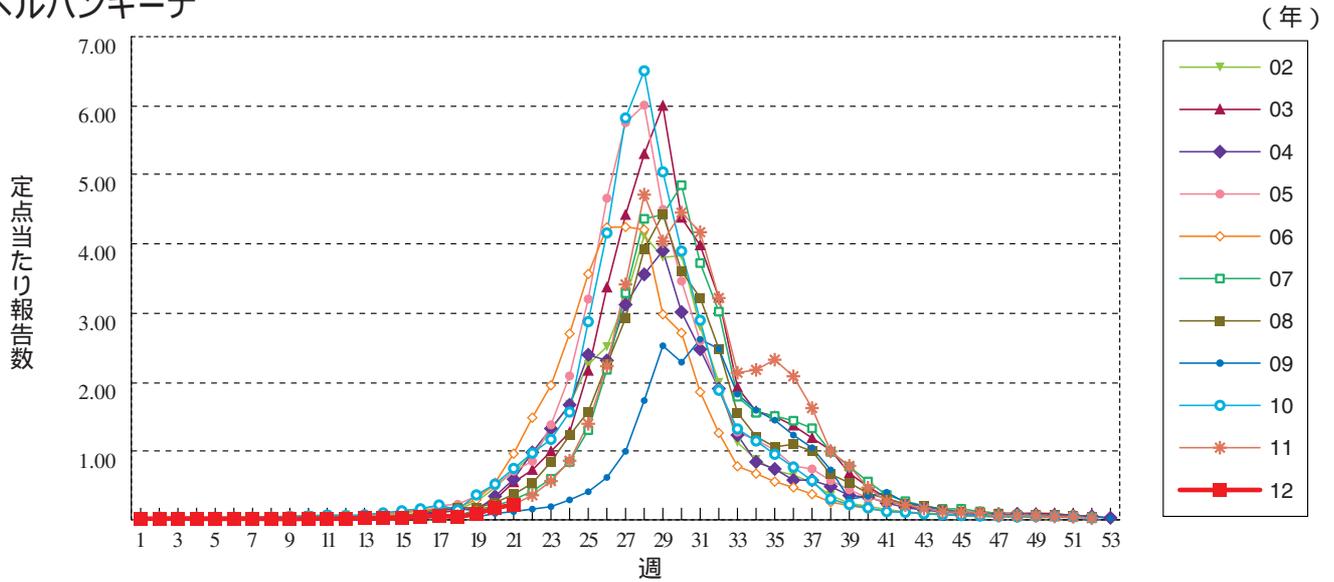
突発性発しん



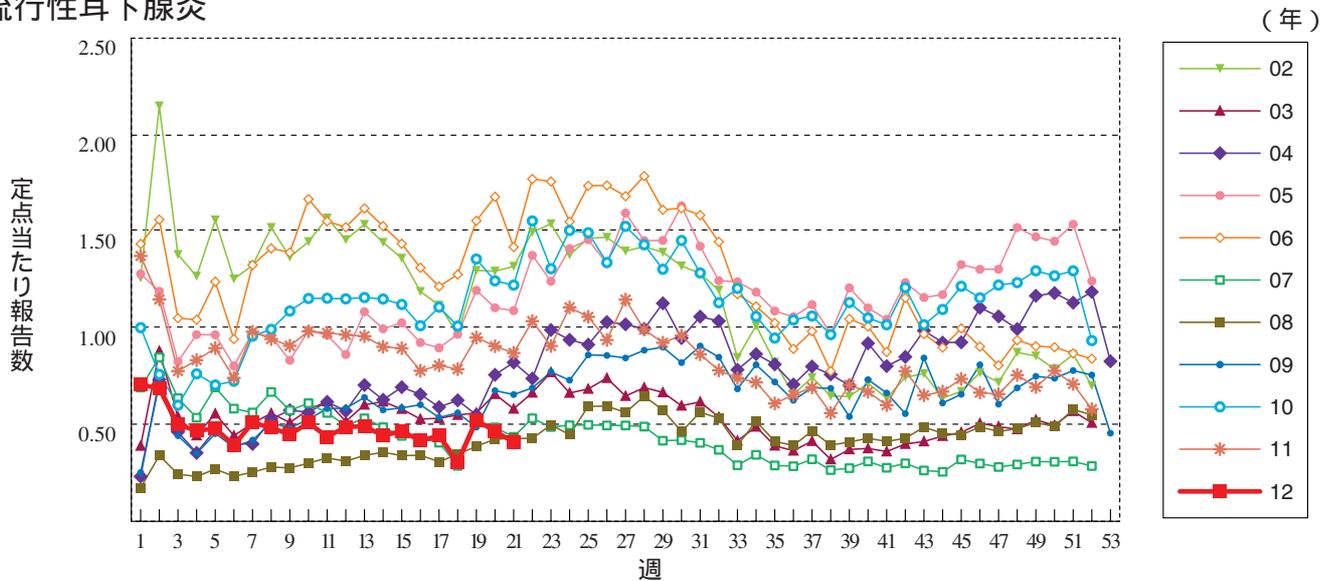
百日咳



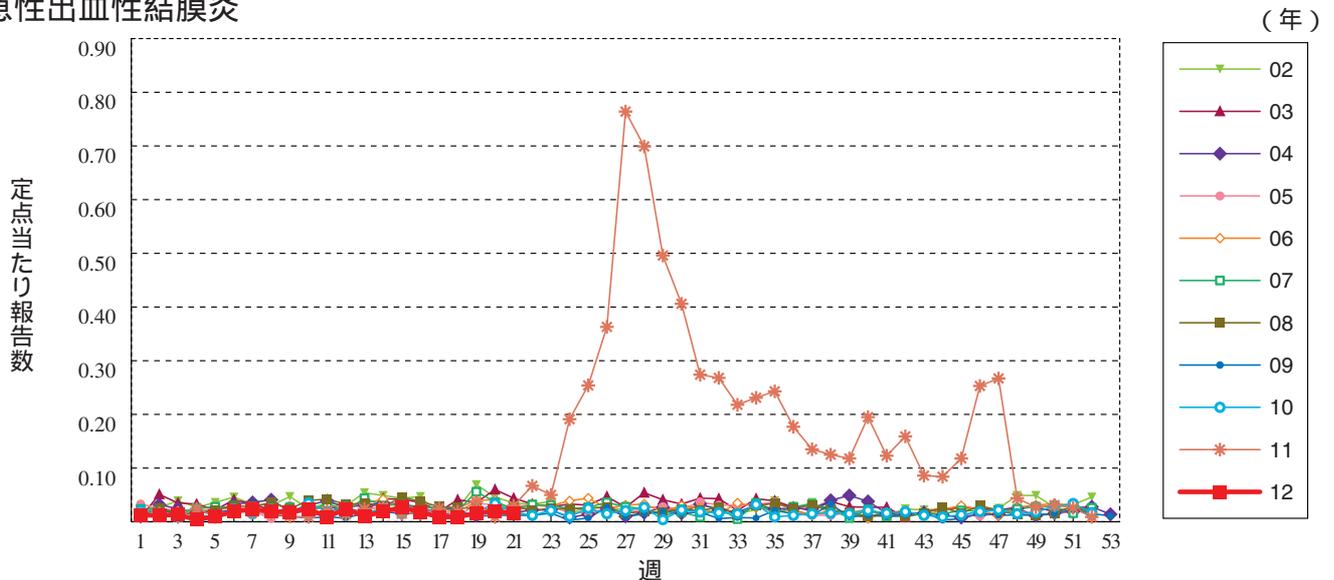
### ヘルパンギーナ



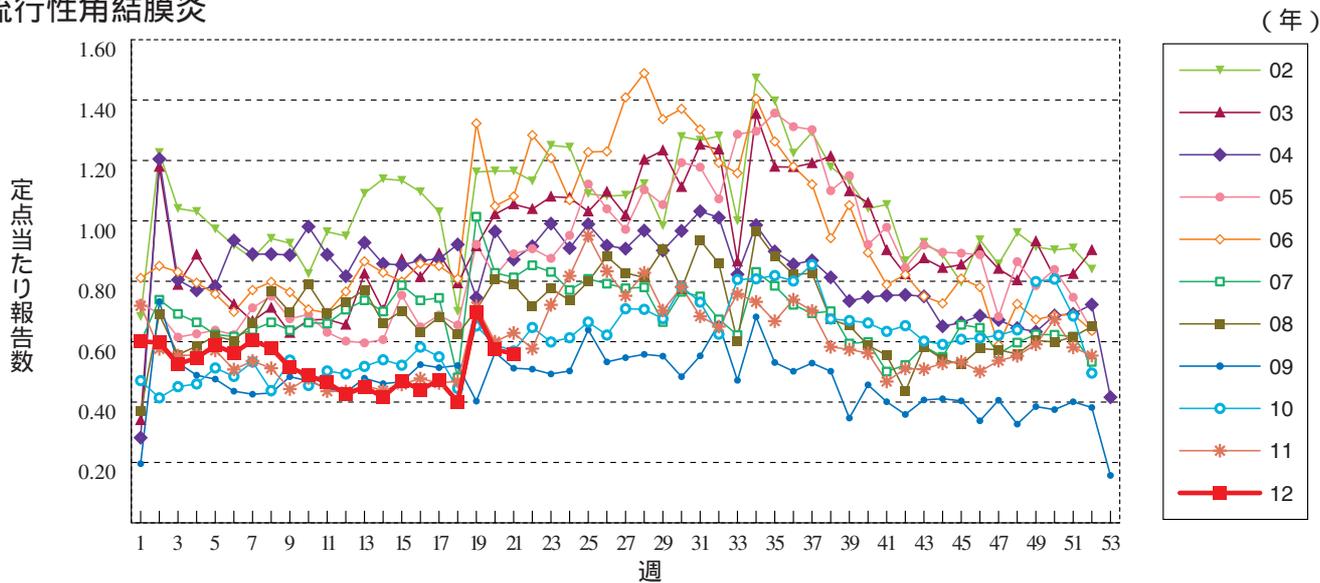
### 流行性耳下腺炎



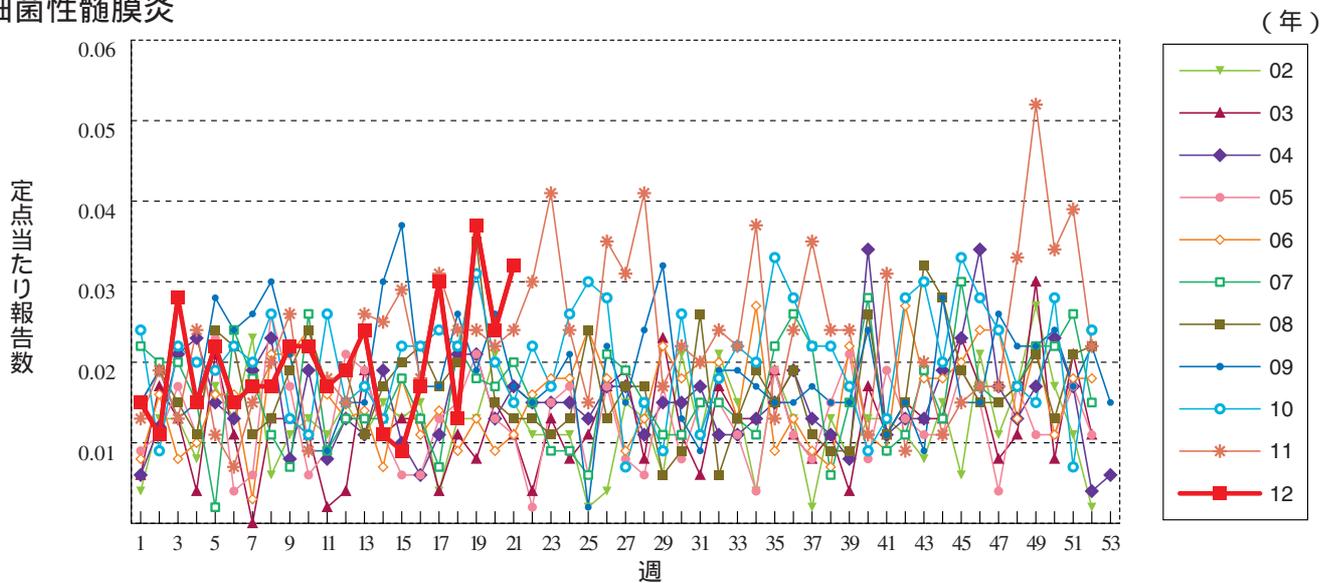
### 急性出血性結膜炎



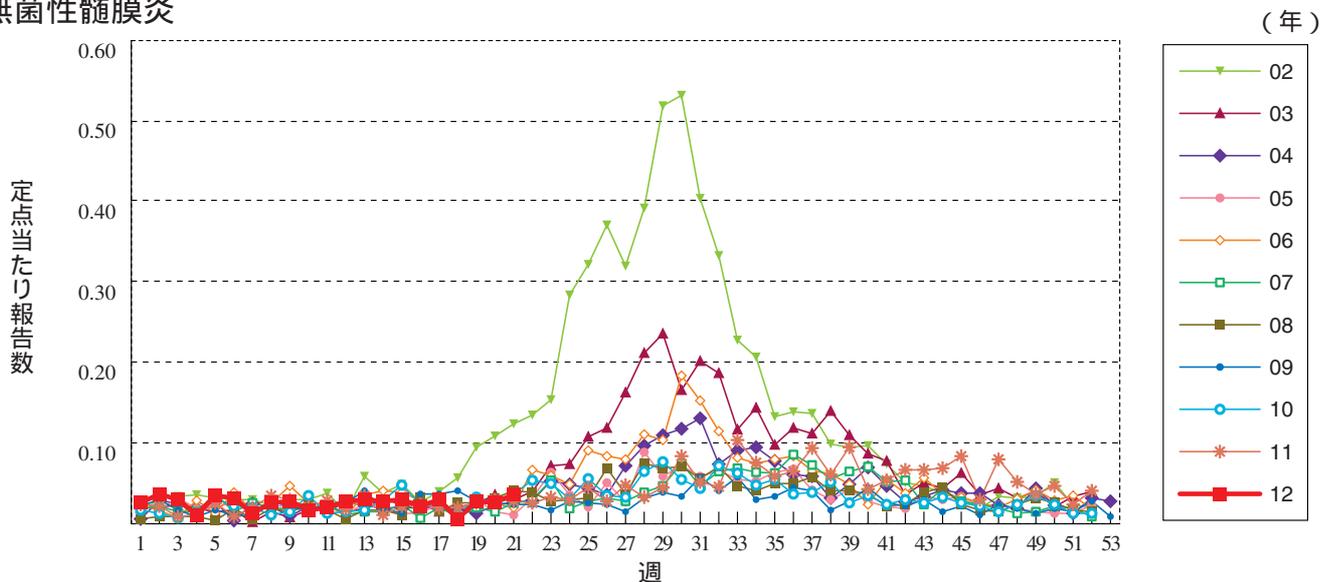
流行性角結膜炎



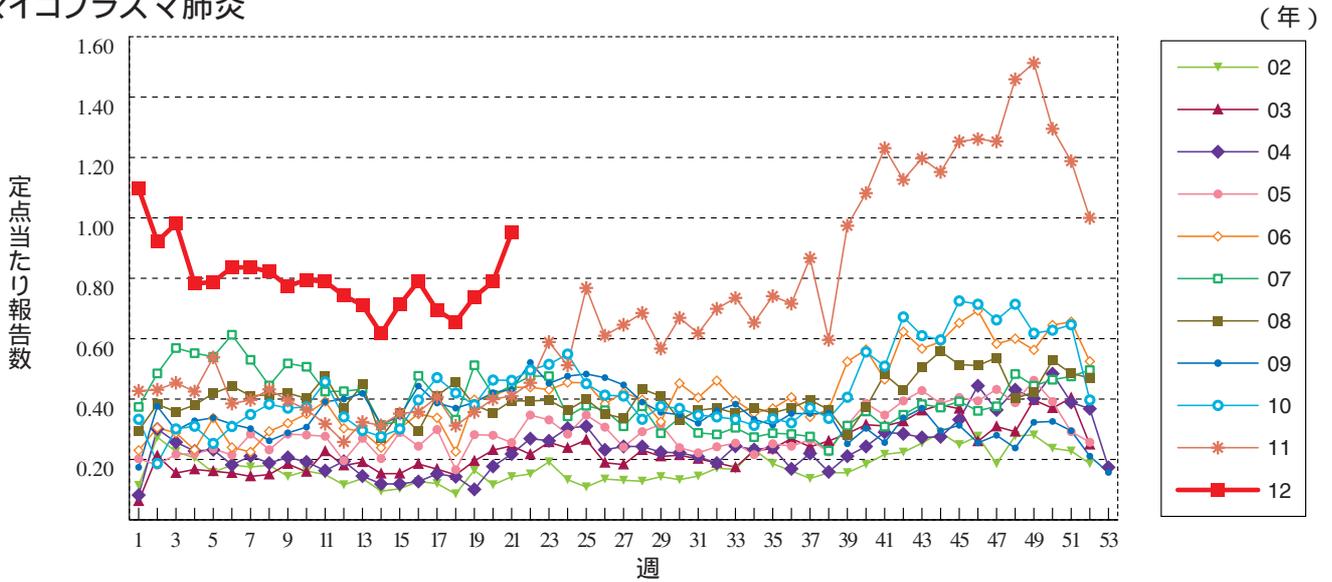
細菌性髄膜炎



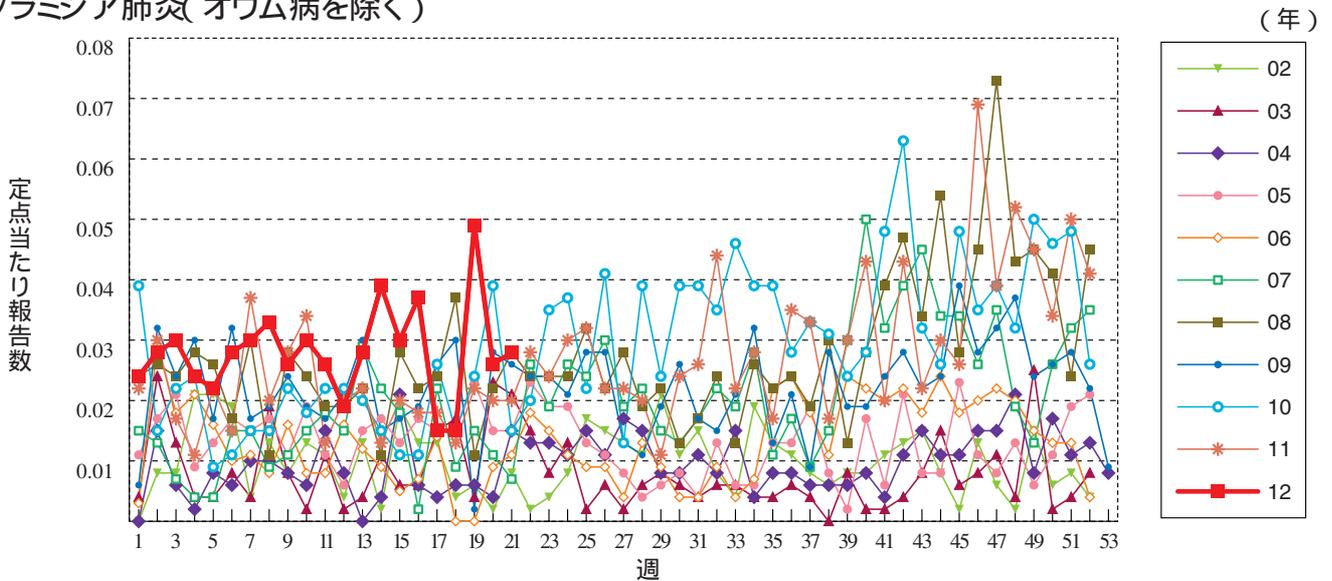
無菌性髄膜炎



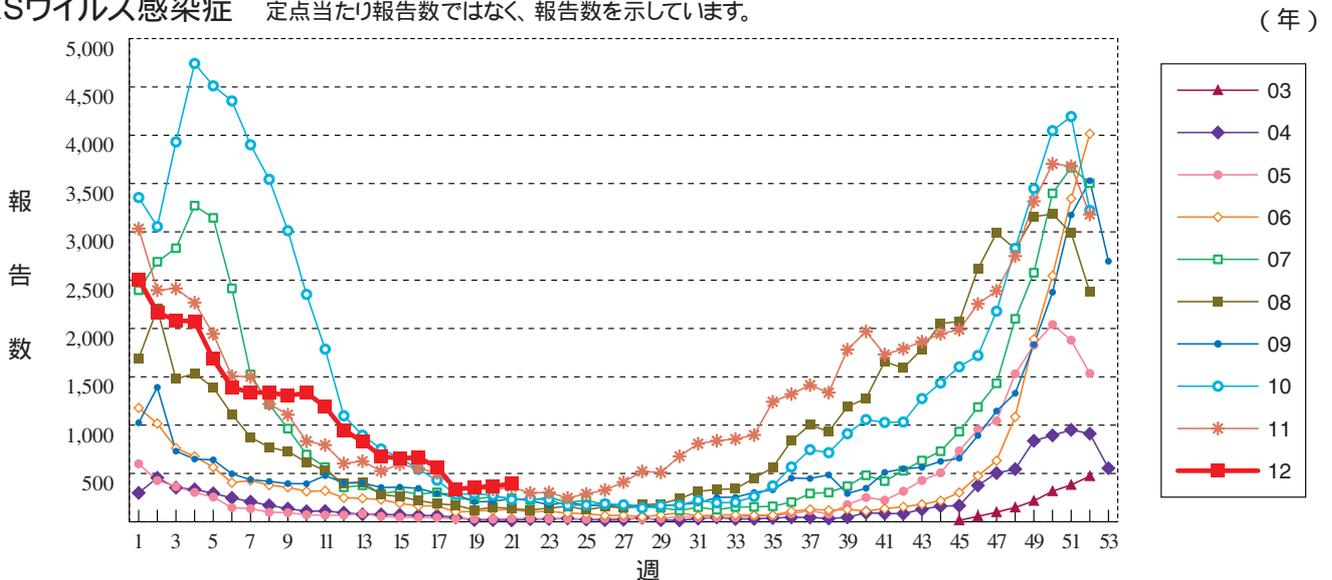
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎( オウム病を除く )



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





## 21週のデータ

注) 表中の報告数は5月30日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。  
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年21週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	395	11165
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	322
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	188
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	110
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	153
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	86
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	86
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	92
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	267
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	139
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	90
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	521
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	570
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	1745
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	827
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	126
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	84
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	74
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	75
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	57
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	123
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	195
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	191
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	697
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	124
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	112
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	272
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	619
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	425
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	136
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	139
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	117
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	157
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	299
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	162
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	98
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	73
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	94
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	56
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	486
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	51
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	161
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	160
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	134
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	91
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	157
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	184

\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年21週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2		1	98	34	342	-	12	-	9	-	60
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-	-	-	-	-	27
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	8	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	7	-	1	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	11	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	31	3	29	-	5	-	3	-	-	9
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	3	1	17	-	2	-	1	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	1	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	37	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	10	-	-	-	-	-	-	9
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	5	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	24	1	16	-	1	-	4	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	7	-	1	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	9	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	26	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年21週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	7	83	-	5	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	2	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年21週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病			
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積		
総数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	109
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	11
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2012年21週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	52	-	-	-	-	-	-	4	15	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年21週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	28	-	-	-	1	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

\*\*ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年21週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	13	253	1	4	-	-	9	319	2	82	4	196	-	6
北海道	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	8	1	3	-	10	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	1	-	14	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	1	18	-	1	-	10	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	19	-	2	-	33	-	-
東京都	-	-	-	-	3	22	1	3	-	-	1	67	-	18	1	15	-	2
神奈川県	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	1	28	-	2	1	6	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	5	-	1	-	10	-	-
富山県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	1	1	-	3	-	-
石川県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-
福井県	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	1	9	-	1	-	1	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	7	-	1	-	9	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	14	-	1	-	4	-	1
三重県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	8	-	-	-	2	-	3
滋賀県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3	-	-
京都府	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	2	9	-	5	-	7	-	-
大阪府	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-	1	31	-	10	-	11	-	-
兵庫県	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	5	-	5	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	5	-	3	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	8	-	3	1	9	-	-
山口県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	4	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	17	-	7	-	4	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2	-	6	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年21週

	クローンツェフト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	71	3	114	14	507	1	19	-	6	-	-	12	312	2	35	-	-
北海道	-	5	-	8	-	9	-	-	-	-	-	-	9	-	4	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	2	-	4	-	1	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
茨城県	-	2	-	2	-	11	-	1	-	-	-	-	1	7	-	3	-	-
栃木県	-	5	-	3	-	8	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	3	1	22	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-
千葉県	-	3	-	5	2	14	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-
東京都	-	6	-	7	5	157	-	6	-	-	-	-	3	108	-	-	-	-
神奈川県	-	4	-	3	-	24	-	2	-	2	-	-	1	14	-	5	-	-
新潟県	-	3	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
富山県	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	4	1	2	-	6	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	1	4	-	2	-	-
愛知県	-	3	-	7	-	45	-	1	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	6	-	3	1	3	-	1	-	1	-	-	5	-	1	-	-	-
大阪府	-	2	1	2	5	68	-	3	-	-	-	-	2	32	-	-	-	-
兵庫県	-	3	-	4	-	13	-	-	-	1	-	-	5	-	1	-	-	-
奈良県	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	10	1	2	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-
山口県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	1	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	10	-	17	-	-	-	1	-	-	9	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
熊本県	1	1	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	8	1	3	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-	4	-	1	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2012年21週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	28	10	219	5	126
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	3	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	8
群馬県	-	1	-	2	-	-
埼玉県	-	1	-	2	2	14
千葉県	-	2	-	7	-	12
東京都	-	4	-	28	-	20
神奈川県	-	2	-	6	-	7
新潟県	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	3
長野県	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	5
静岡県	-	1	-	3	-	1
愛知県	-	-	-	5	1	31
三重県	-	-	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	2	-	2
京都府	-	2	1	13	-	-
大阪府	-	6	3	51	-	3
兵庫県	-	-	4	68	2	8
奈良県	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	3	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	5
広島県	-	1	-	5	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	4	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	2	1	1	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	2	-	-
沖縄県	-	1	-	1	-	-

\*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年21週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2236	0.46	1446	0.46	8522	2.70	28826	9.15	4560	1.45	563	0.18	479	0.15	1980	0.63	117	0.04
北海道	51	0.23	91	0.64	510	3.57	899	6.29	201	1.41	27	0.19	5	0.03	61	0.43	2	0.01
青森県	111	1.73	11	0.27	70	1.71	282	6.88	44	1.07	45	1.10	9	0.22	20	0.49	5	0.12
岩手県	40	0.63	6	0.15	75	1.88	231	5.78	54	1.35	1	0.03	18	0.45	18	0.45	2	0.05
宮城県	11	0.12	27	0.47	163	2.81	628	10.83	67	1.16	5	0.09	4	0.07	36	0.62	-	-
秋田県	29	0.53	12	0.34	47	1.34	266	7.60	24	0.69	8	0.23	3	0.09	17	0.49	-	-
山形県	7	0.15	7	0.23	134	4.47	452	15.07	80	2.67	2	0.07	9	0.30	33	1.10	-	-
福島県	49	0.61	53	1.10	136	2.83	320	6.67	78	1.63	11	0.23	15	0.31	34	0.71	1	0.02
茨城県	19	0.16	27	0.36	157	2.09	377	5.03	81	1.08	6	0.08	8	0.11	27	0.36	1	0.01
栃木県	5	0.07	8	0.17	71	1.48	273	5.69	56	1.17	7	0.15	5	0.10	30	0.63	2	0.04
群馬県	27	0.28	28	0.47	160	2.67	498	8.30	35	0.58	3	0.05	5	0.08	28	0.47	3	0.05
埼玉県	15	0.06	78	0.49	661	4.13	1416	8.85	327	2.04	53	0.33	12	0.08	114	0.71	4	0.03
千葉県	17	0.08	45	0.34	486	3.68	1216	9.21	191	1.45	19	0.14	13	0.10	89	0.67	6	0.05
東京都	57	0.14	124	0.48	966	3.72	2413	9.28	298	1.15	62	0.24	37	0.14	215	0.83	4	0.02
神奈川県	51	0.16	77	0.37	499	2.41	1713	8.28	278	1.34	34	0.16	25	0.12	155	0.75	13	0.06
新潟県	33	0.35	34	0.57	192	3.20	660	11.00	78	1.30	17	0.28	23	0.38	43	0.72	6	0.10
富山県	22	0.46	23	0.79	150	5.17	375	12.93	34	1.17	-	-	5	0.17	15	0.52	-	-
石川県	17	0.35	14	0.48	67	2.31	310	10.69	35	1.21	6	0.21	3	0.10	11	0.38	-	-
福井県	24	0.75	17	0.77	95	4.32	344	15.64	47	2.14	32	1.45	1	0.05	11	0.50	-	-
山梨県	9	0.23	6	0.25	54	2.25	189	7.88	26	1.08	-	-	3	0.13	7	0.29	-	-
長野県	47	0.53	15	0.27	211	3.84	729	13.25	100	1.82	25	0.45	19	0.35	26	0.47	3	0.05
岐阜県	31	0.36	20	0.38	80	1.51	397	7.49	50	0.94	11	0.21	29	0.55	21	0.40	-	-
静岡県	82	0.59	48	0.54	192	2.16	843	9.47	115	1.29	5	0.06	6	0.07	43	0.48	2	0.02
愛知県	56	0.29	34	0.19	315	1.74	1712	9.46	279	1.54	11	0.06	23	0.13	104	0.57	4	0.02
三重県	39	0.54	21	0.47	114	2.53	434	9.64	107	2.38	7	0.16	9	0.20	36	0.80	1	0.02
滋賀県	20	0.38	6	0.19	94	2.94	363	11.34	42	1.31	8	0.25	3	0.09	17	0.53	1	0.03
京都府	47	0.39	20	0.27	164	2.22	694	9.38	109	1.47	6	0.08	9	0.12	23	0.31	-	-
大阪府	40	0.13	97	0.49	455	2.31	2054	10.43	328	1.66	25	0.13	10	0.05	102	0.52	5	0.03
兵庫県	55	0.28	57	0.45	269	2.10	1571	12.27	182	1.42	7	0.05	23	0.18	83	0.65	3	0.02
奈良県	14	0.25	22	0.63	62	1.77	233	6.66	41	1.17	1	0.03	3	0.09	11	0.31	-	-
和歌山県	59	1.18	10	0.32	28	0.90	200	6.45	55	1.77	2	0.06	2	0.06	14	0.45	1	0.03
鳥取県	29	1.00	5	0.26	76	4.00	242	12.74	16	0.84	-	-	8	0.42	8	0.42	4	0.21
島根県	28	0.74	12	0.52	25	1.09	318	13.83	28	1.22	2	0.09	14	0.61	14	0.61	-	-
岡山県	16	0.19	18	0.33	53	0.98	428	7.93	86	1.59	11	0.20	3	0.06	29	0.54	-	-
広島県	61	0.54	38	0.54	157	2.21	539	7.59	79	1.11	6	0.08	11	0.15	45	0.63	10	0.14
山口県	14	0.20	17	0.35	156	3.25	394	8.21	81	1.69	4	0.08	12	0.25	35	0.73	6	0.13
徳島県	19	0.49	14	0.61	58	2.52	329	14.30	42	1.83	1	0.04	14	0.61	20	0.87	-	-
香川県	13	0.27	16	0.53	26	0.87	467	15.57	32	1.07	12	0.40	3	0.10	23	0.77	1	0.03
愛媛県	45	0.74	10	0.27	147	3.97	445	12.03	50	1.35	4	0.11	18	0.49	29	0.78	1	0.03
高知県	9	0.19	10	0.33	62	2.07	289	9.63	63	2.10	2	0.07	22	0.73	15	0.50	13	0.43
福岡県	88	0.44	101	0.84	310	2.58	1031	8.59	232	1.93	10	0.08	7	0.06	98	0.82	5	0.04
佐賀県	19	0.49	22	0.96	55	2.39	136	5.91	43	1.87	2	0.09	2	0.09	24	1.04	-	-
長崎県	60	0.86	15	0.34	128	2.91	265	6.02	59	1.34	1	0.02	-	-	23	0.52	-	-
熊本県	142	1.84	22	0.46	89	1.85	385	8.02	53	1.10	4	0.08	4	0.08	48	1.00	-	-
大分県	16	0.28	11	0.31	189	5.25	378	10.50	65	1.81	4	0.11	12	0.33	30	0.83	2	0.06
宮崎県	55	0.93	25	0.69	135	3.75	470	13.06	79	2.19	3	0.08	3	0.08	40	1.11	2	0.06
鹿児島県	101	1.09	58	1.05	145	2.64	495	9.00	57	1.04	3	0.05	1	0.02	33	0.60	-	-
沖縄県	437	7.53	14	0.41	34	1.00	123	3.62	53	1.56	48	1.41	6	0.18	22	0.65	4	0.12

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年21週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	702	0.22	1291	0.41	11	0.02	380	0.56	15	0.03	17	0.04	442	0.95	13	0.03	394	
北海道	4	0.03	24	0.17	-	-	3	0.10	1	0.04	-	-	11	0.48	-	-	22	
青森県	1	0.02	10	0.24	-	-	8	0.80	-	-	-	-	17	2.83	-	-	17	
岩手県	2	0.05	55	1.38	-	-	8	0.57	-	-	-	-	38	2.00	-	-	9	
宮城県	7	0.12	26	0.45	-	-	3	0.25	1	0.08	-	-	28	2.33	-	-	15	
秋田県	-	-	4	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	6	0.75	-	-	1	
山形県	-	-	28	0.93	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.40	-	-	3	
福島県	2	0.04	19	0.40	-	-	12	1.00	-	-	-	-	12	1.71	6	0.86	13	
茨城県	13	0.17	22	0.29	1	0.06	29	1.71	-	-	-	-	5	0.38	-	-	4	
栃木県	4	0.08	12	0.25	-	-	9	0.75	-	-	2	0.29	16	2.29	2	0.29	2	
群馬県	18	0.30	45	0.75	-	-	10	0.71	1	0.13	-	-	13	1.63	-	-	-	
埼玉県	33	0.21	54	0.34	-	-	22	0.52	1	0.11	-	-	17	1.89	-	-	11	
千葉県	15	0.11	37	0.28	1	0.03	20	0.61	-	-	1	0.11	13	1.44	2	0.22	11	
東京都	26	0.10	44	0.17	-	-	22	0.58	-	-	2	0.08	23	0.92	-	-	29	
神奈川県	18	0.09	85	0.41	1	0.02	44	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	16	
新潟県	1	0.02	29	0.48	-	-	9	0.90	-	-	-	-	5	0.38	2	0.15	13	
富山県	2	0.07	10	0.34	-	-	-	-	-	-	1	0.20	7	1.40	-	-	-	
石川県	2	0.07	6	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	14	2.80	-	-	2	
福井県	4	0.18	6	0.27	-	-	1	0.33	1	0.17	-	-	2	0.33	-	-	3	
山梨県	1	0.04	20	0.83	-	-	2	0.22	-	-	-	-	2	0.20	-	-	-	
長野県	4	0.07	6	0.11	-	-	6	0.55	-	-	-	-	14	1.27	-	-	-	
岐阜県	16	0.30	59	1.11	-	-	1	0.09	-	-	1	0.20	8	1.60	-	-	2	
静岡県	1	0.01	52	0.58	-	-	8	0.36	2	0.22	1	0.11	6	0.67	-	-	9	
愛知県	80	0.44	91	0.50	1	0.03	13	0.38	2	0.15	1	0.08	37	2.85	-	-	27	
三重県	52	1.16	10	0.22	-	-	2	0.17	-	-	-	-	3	0.33	-	-	3	
滋賀県	11	0.34	3	0.09	-	-	4	0.50	-	-	-	-	3	0.43	-	-	1	
京都府	12	0.16	25	0.34	-	-	5	0.28	-	-	-	-	2	0.33	-	-	-	
大阪府	34	0.17	41	0.21	1	0.02	9	0.19	-	-	1	0.06	18	1.13	-	-	37	
兵庫県	15	0.12	46	0.36	1	0.03	16	0.46	-	-	-	-	10	0.83	1	0.08	4	
奈良県	2	0.06	9	0.26	1	0.11	3	0.33	-	-	-	-	4	0.67	-	-	1	
和歌山県	3	0.10	3	0.10	-	-	3	0.75	-	-	-	-	14	1.27	-	-	5	
鳥取県	1	0.05	5	0.26	-	-	1	0.33	-	-	1	0.20	2	0.40	-	-	-	
島根県	16	0.70	10	0.43	-	-	-	-	1	0.13	1	0.13	6	0.75	-	-	2	
岡山県	6	0.11	14	0.26	-	-	3	0.25	-	-	-	-	5	1.00	-	-	3	
広島県	29	0.41	16	0.23	-	-	13	0.68	-	-	-	-	8	0.38	-	-	10	
山口県	20	0.42	35	0.73	-	-	1	0.11	1	0.11	-	-	9	1.00	-	-	4	
徳島県	8	0.35	16	0.70	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-	4	
香川県	1	0.03	8	0.27	-	-	2	0.67	1	0.20	-	-	1	0.20	-	-	1	
愛媛県	14	0.38	12	0.32	-	-	22	2.75	-	-	-	-	3	0.50	-	-	9	
高知県	3	0.10	15	0.50	-	-	4	1.33	1	0.13	-	-	10	1.25	-	-	-	
福岡県	70	0.58	104	0.87	-	-	14	0.54	-	-	-	-	2	0.13	-	-	53	
佐賀県	15	0.65	16	0.70	-	-	1	0.25	1	0.17	-	-	6	1.00	-	-	1	
長崎県	3	0.07	11	0.25	-	-	3	0.38	-	-	1	0.08	12	1.00	-	-	1	
熊本県	34	0.71	41	0.85	-	-	5	0.56	-	-	-	-	7	0.47	-	-	-	
大分県	14	0.39	38	1.06	-	-	1	0.20	-	-	2	0.18	3	0.27	-	-	-	
宮崎県	58	1.61	22	0.61	-	-	8	1.33	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	
鹿児島県	13	0.24	45	0.82	-	-	5	0.71	-	-	-	-	3	0.25	-	-	14	
沖縄県	14	0.41	2	0.06	4	0.40	25	2.50	1	0.14	2	0.29	9	1.29	-	-	32	

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年21週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群( SARS )						結核		鳥インフルエンザ( H5N1 )		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2012年21週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第14巻 第21号 2012年6月8日発行  
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。